

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

10大油脂作物の92/93農年における世界生産量は、225,94百万トンで前年と殆んど変化のない規模であった。これに対する世界の消費量は、227百万トンで前年をわずかに減少したものの世界生産量を越えているため、期末在庫を前年の28,75百万トンより27,73百万トンへと減少した。世界生産の停滞は、最大の生産国米国における天候不順(植付時期の降雨過剰)にもとづくもので、これが大きく影響している。業界誌OIL WORLDによると93/94農年に期待されている大豆の世界生産量は111,81百万トンで前年の114,44百万トンより2,65百万トンの減産となる見込みであるが、この減少分は、他の油脂作物の増産(菜種8,1%、オイル・パーム5,3%、ヒマワリ4,9%)によってカバーされる見通しである。

93/94農年の世界の消費量は、232百万トンと推定されており、前年を2,2%上回る見込みである。これは過去最大の消費量となるもので、ここでも世界の生産量を上回るため93/94農年末における世界のストックは大巾に落ちる見込みである。米国農務局(USDA)の推定によると米国の大豆生産量は、92年の59,79百万トンより93年は51,79百万トンに落ちており、世界の相場に大きな影響を与えている。

表 109 油脂作物主要10品種の世界需給状況

区 分	1990/91	91/92	92/93	93/94
期 首 在 庫	29,08	29,62	28,75	27,73
世界生産量	217,82	226,61	225,94	225,52
供 給 量 計	246,90	256,23	254,69	253,25
世界消費量	217,28	227,48	226,96	232,00
期 末 在 庫	29,62	28,75	27,73	21,25

出所: OIL WORLD WEEKLY

表 110 大豆の国際価格 USS/t

月 例	1990	1991	1992	1993
1	242	239	236	239
2	240	241	237	236
3	242	244	240	238
4	247	245	235	244
5	259	241	247	246
6	249	241	253	245
7	252	229	237	244
8	250	241	229	...
9	250	246	227	...
10	248	237	221	...
11	239	237	229	...
12	244	234	235	...

出所: OIL WORLD WEEKLY

(ブラジルの大豆及び副産物輸出)

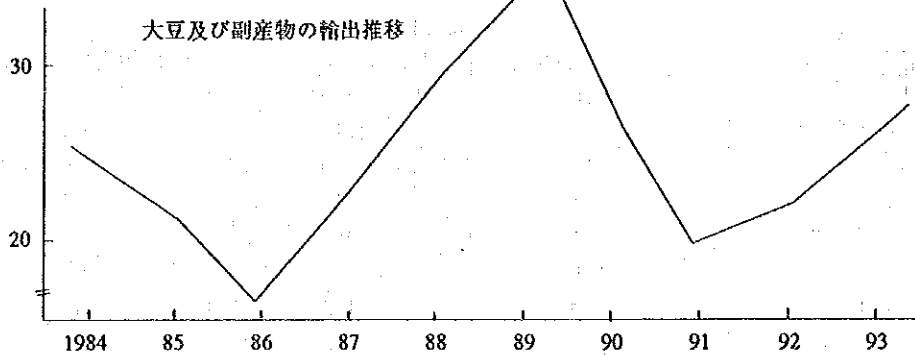
表 111 大豆及び副産物の輸出実績 100万ドル

年 度	大 豆 (豆)	大 豆 粕	大 豆 油	計
1984	454	1.460	651	2.565
85	363	1.175	602	2.140

86	243	1.198	138	1.579
87	570	1.450	304	2.324
88	728	1.892	294	2.914
89	1,138	1.950	395	3.483
90	910	1.610	321	2.841
91	445	1.369	208	2.022
92	812	1.595	265	2.672
93	946	1.815	306	3.067

出所：CACEX, DECEX, SECEX

(億ドル)



1993年度における大豆及び副産物の輸出は、大豆(豆)4,2百万トン、大豆粕9,4百万トン及び大豆油が0,73百万トンであった。その輸出額は30,67億ドルで同年の輸出総額の7,9%を占めており、農産物の中でもっとも重要な輸出項目としての位置は変わっていない。

輸出統計による大豆及び副産物の輸出実績は次表の通りである。

表 112 大豆(豆)の輸出実績

年 度	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均価格 US\$/t
1984	1,561	454	291
85	3,491	763	218
86	1,200	243	202
87	3,024	570	188
88	2,577	728	280
89	4,618	1,154	249
90	4,077	910	223
91	2,008	445	221
92	3,739	812	217
93	4,190	946	226

出所：CACEX, DECEX, SECEX

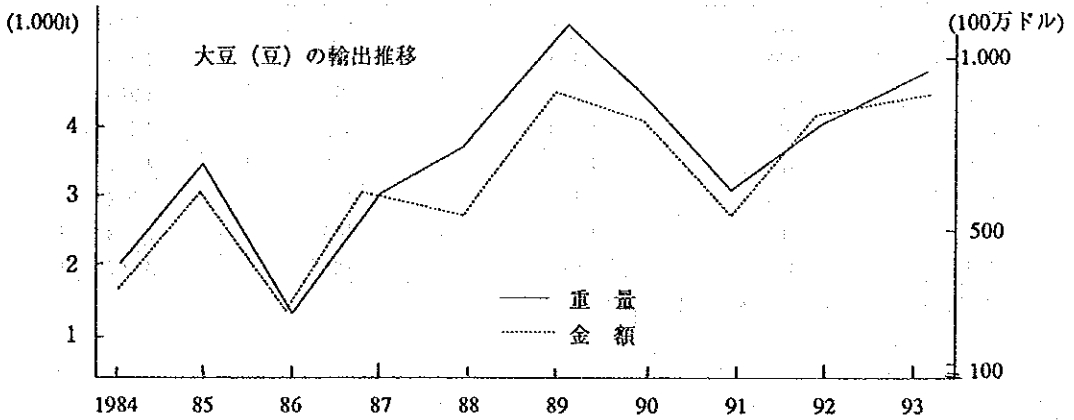


表 113 大豆(豆)の輸出先市場(1993年)

輸出先国	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均価格 US\$/t
オランダ	1,898.4	434.7	229
スペイン	507.1	117.2	231
日本	337.1	77.4	229
イタリー	281.3	63.8	227
ドイツ	173.1	38.9	190
韓国	49.8	11.9	240
エストニア	47.5	10.5	220
マリー半島	40.6	9.5	235
ポルトガル	30.2	7.6	252
メキシコ	31.3	6.6	212
その他	793.6	168.4	212
計	4,190.0	946.5	226

出所: SECEX

表 114 大豆粕の輸出実績

年 度	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均価格 US\$/t
1984	7,587	1,460	192
85	9,588	1,175	123
86	6,666	1,198	180
87	7,802	1,450	186
88	8,129	2,023	249
89	9,871	2,136	216
90	8,744	1,610	184
91	7,487	1,369	183
92	8,501	1,595	188
93	9,398	1,815	193

出所: SECEX

(100万ドル)

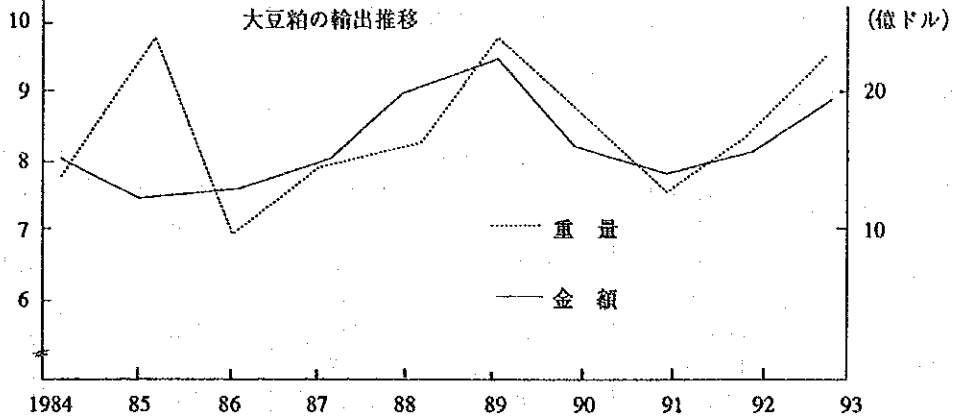


表 115

大豆粕の輸出先市場 (1993年)

輸出先国	重量 1,000 t	金額 1,000ドル	平均価格 US\$/t
オランダ	3,172.9	623.1	196
フランス	1,044.0	207.2	198
イタリー	953.5	183.8	193
スペイン	913.7	170.1	186
デンマーク	561.1	105.4	188
ポーランド	227.1	43.5	192
ハンガリー	226.8	42.6	188
ベルギー	212.4	40.8	192
日本	181.2	35.0	193
トルコ	179.7	33.1	184
ドイツ	167.6	31.5	188
英国	124.2	25.0	201
その他	1,433.7	273.9	-
計	9,307.9	1,815.0	193

出所: SECEX (NBN 2.304.00.0100)

表 116

大豆油の輸出先市場 (1993年)

輸出先国	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
イラン	212.2	88.4	416
パキスタン	100.3	40.8	407
バングラデッシュ	90.0	37.0	410
トルコ	51.0	21.9	428
モロッコ	49.3	20.6	417
オランダ	45.2	18.7	413
マレー半島	31.6	12.8	404
中国	26.8	11.0	410
エジプト	19.0	8.6	453
チュニジア	20.6	8.9	432
その他	88.8	37.6	423

計	734,8	306,3	417
---	-------	-------	-----

出所：SECEX (NBM 1507.10.0000)

ハ) 国内市場

表 117 大豆の国内需給 1,000 t

区分	1988/89	89/90	90/91	91/92	92/93
期首在庫	475	1,510	844	437	436
生産量	23,929	20,101	15,395	19,418	23,042
輸入量	64	16	282	550	100
供給量計	24,468	21,627	16,521	20,405	23,578
消費量	18,289	16,635	14,157	16,083	18,060
輸出量	4,669	4,149	1,927	3,886	4,700
期末在庫	1,510	843	437	436	818

出所：CONAB DECEX, ABIOVE

CONAB (国家供給公社) のデータによると92/93農年における大豆の供給総量は、国内生産の増加により、大巾に拡大されており、前年を12%上回る消費の増加にかかわらず4,7百万トンの輸出を可能としたあと、次期に繰越した在庫量も前年を倍加する818千トンに達した。このような供給量の増加が93年上半期にみられた価格低下の最大の原因となっている。

このような状況ではあったが、93年度の販売は大半の生産者にとって満足すべきものとされている。生産者の中には、植付時点で将来の収穫物を売却する“背田売り”を行ったものも多い。この場合、生産者は植付時点で現金を受取るので収益が保証されるほか、銀行融資への依存度を低めており、より安定した経営を可能としている。又、生産資材との交換方式による販売もあり、政府の生産融資に依存する方法も軽減されている。非公式の推定によると92/93農年の大豆作の5~10%がこの方法によって販売されたものと思われる。その比率は地域によって異なるが、中でも消費市場から遠く、輸送、貯蔵インフラが不足する中西部地方においてもっとも高いものであった。この方法は、又毎年4月~5月にかけて集中する生産量を減少させ、値下りの速度を鈍らせた効果もあった。

93年の下半期には、米国の減産が確認されたことから、国際市場では7~8月にかけて価格の大巾な上昇があったが、その影響は即時国内市場にも及んでおり、国内価格の上昇がみられている。このように国際市場、国内市場とも良好な市況であり、販売方法にも出荷の集中を避ける方法がとられたが、史上第2の収穫をあげたため国内供給に問題を生じることはなかった。

大豆粕の国内消費量は、養鶏、養豚活動の増加により、前年を8,6%上回る3,6百万トンに達したものと推定されている。同様に大豆油の国内消費量も前年を4,6%増加したものと推定されているが、これは政府がすすめた食糧プログラムや経済界における雇用の増大による需要にもとづくものであった。

表 118 大豆：生産者受取価格 (サンパウロ州) CR/60Kg

月例	1990	1991	1992	1993
1	978	878	1,085	1,098
2	827	908	1,007	987
3	724	879	995	884
4	736	879	934	884
5	794	885	941	833
6	743	859	983	835
7	775	797	976	1,051

8	750	863	1,023	1,060
9	692	950	1,121	...
10	767	1,102	1,057	...
11	866	933	1,077	...
12	855	924	1,059	...

出所：IEA *1993年8月を基準とした実質価格

表 119 大豆：生産者受取価格（リオ・グランデ・ド・スール州） CR/60Kg

月例	1990	1991	1992	1993
1	741	842	802	988
2	606	844	900	947
3	680	894	886	839
4	644	900	861	813
5	719	897	852	800
6	667	882	900	818
7	694	821	900	973
8	721	813	886	960
9	641	900	1,023	...
10	707	1,099	997	...
11	759	956	942	...
12	886	886	1,015	...

出所：IEA

大豆栽培に対する農業政策についてみると、93/94農年に対して設定されたVBC（生産融資基準額）は、生産コストをカバーするに十分な資金量ではなく、又、生産者の規模別分類の中、大中農に対しては融資枠が大巾に制限されているため、生産コストとの関係は更に低下する状態にある。すなわち1ヘクタール当りの反収が1.601Kg~2.000Kgのものに対するVBCは、生産コストのそれぞれ65.4%及び69.9%を満たすにすぎず、これを融資枠からみるとミニ及び小農の場合（融資枠80%）コストに対するVBCの割合は52.3%（リベイロン・プレット地方の場合）及び56.06%（パラナバネマ地方の場合）、又、中、大農の場合（融資枠60%）はそれぞれ39.2%及び42.0%しかカバー出来ないことになる。このことは、自己資金又は他の資金源による補填を必要とすることを意味している。

二) 生産コスト

サンパウロ州農務局、農業経済研究所（IEA）が発表した州内リベイロン・プレット地区及びパラナバネマ地方における93/94農年の大豆生産コスト予想は次表の通りである。

表 120 大豆：生産コスト予想（93/94） A US\$

項目	1haあたり	1tあたり	1俵あたり	構成比 (%)
労務費	14,42	6,87	0,41	5,06
種子代	37,58	17,90	1,07	13,18
肥料・石灰	73,26	34,89	2,09	25,69
農薬	17,19	8,18	0,49	6,03
機械維持費	77,99	37,14	2,23	27,35
輸送費	3,00	1,43	0,09	1,05
直接コスト計	223,44	106,40	6,38	78,35

機械償却費	34,04	16,21	0,97	11,94
金融費用	5,86	2,79	0,17	2,05
福利費	4,76	2,27	0,14	1,67
保険料	9,38	4,47	0,27	3,29
社会保障基金	7,70	3,67	0,22	2,70
合計	285,18	135,80	8,15	100,00

出所：IEA サンパウロ州リベイロン・プレット地区、機械耕作、1haあたり35俵(60Kg)収穫の場合
 交換レート 93年8月 US\$ 1,00=CR 84,03

表 121 大豆：生産コスト予想(93/94) B US\$

項目	1haあたり	1tあたり	1俵あたり	構成比(%)
労務費	13,05	6,22	0,37	5,00
種子代	50,56	24,08	1,44	19,36
肥料・石灰	55,87	26,60	1,60	21,40
農薬	28,57	13,60	0,82	10,94
機械維持費	57,80	27,52	1,65	22,14
輸送費	3,00	1,43	0,09	1,15
直接コスト計	208,85	99,45	5,97	79,99
機械償却費	26,01	12,38	0,74	9,96
金融費用	5,47	2,61	0,16	2,10
福利費	4,31	2,05	0,12	1,65
保険料	8,77	4,18	0,25	3,36
社会保障基金	7,70	3,67	0,22	2,95
合計	261,11	124,34	7,46	100,00

出所：IEA サンパウロ州パラナパネマ地区、機械耕作、1haあたり35俵収穫の場合
 交換レート 93年8月 US\$ 1,00=CR 84,03

3・2・2 綿

イ) 生産

表 122 綿(草綿)：1992年生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
パラナ	704,5	704,5	972,8	1.381
サン・パウロ	230,0	230,0	397,6	1.729
パイア	184,1	175,7	103,9	591
マト・グロソ・ド・スル	74,0	73,3	85,1	1.161
ゴヤス	54,1	53,8	83,7	1.557
ミナス・ジェライス	114,7	111,3	78,4	704
その他	282,4	245,6	141,4	-
全国計	1.643,8	1.594,2	1.862,9	1.169

出所：IBGE

表 123 綿(木綿)：1992年生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
セアラ	139,2	137,2	13,8	100

パライーバ	59,3	59,3	4,4	74
ベルナンブコ	25,7	24,1	1,6	68
ピアウイ	53,5	53,5	1,5	29
バ・グランド・ド・ノル	9,6	9,6	1,0	104
その他	-	-	-	-
全国計	287,2	283,7	22,3	79

出所：IBGE

表 124 綿（草綿）：1993年生産状況

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
パラナ	345,0	345,0	448,1	1.299
サン・パウロ	141,5	141,5	220,5	1.558
ゴヤス	38,2	38,2	94,6	2.477
マツト・グロッソ	71,2	70,8	89,5	1.263
ミナス・ジェライス	100,7	88,4	70,4	797
バイア	100,4	100,0	65,3	653
その他	222,1	140,8	116,2	-
全国計	1.019,1	924,7	1.104,6	1.194

出所：IBGE

表 125 綿（木綿）：1993年生産状況

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
セアラ	92,7	76,2	6,3	83
ピアウイ	37,3	36,3	4,2	115
パライーバ	23,6	23,6	3,4	144
ベルナンブコ	11,8	6,4	0,2	31
その他	2,5	2,5	0,1	60
全国計	167,8	145,0	14,2	98

出所：IBGE

ブラジルの綿生産は減少を続けており、とくにこの10年間は大巾な生産の下降をみた。その栽培面積は、大きく5つの時期に区分され、各時期毎に減少を続けてきた。すなわち、1980年には、約4百万ヘクタール、81年から86年にかけて3,3百万ヘクタール、87~89年になると2,3百万ヘクタールに落ち、90年代に入ると92年に1,9百万ヘクタール、93年が1,1百万ヘクタールへと激減している。1980年と比較すると実に70%以上の減少である。

栽培面積の減少にかかわらず、生産性の向上により、その生産量は80年代を通じて700千トン（繰綿）が維持されていたが、90年代に入ると面積の減少の他、各種の問題が加わり、生産者も大巾に落ちることとなった。とくに1992年、1993年は国際価格の低下、輸入の増加、販売融資の遅延、天候不順といった問題が重なり最悪の事態にあった。

93年の収穫は面積において前年比(-)43%、生産量で(-)40%の大巾な減少があった。中でも最大の生産地を持つパラナ州では(-)54%の生産減少をみている。

表 126 綿（草綿）：過去5ヶ年間の生産推移 1.000 t

州別	1989	1990	1991	1992	1993
パラナ	805,9	852,6	1.024,1	972,8	448,1

サン・パウロ	513,5	480,1	438,7	397,6	220,5
ゴヤス	58,7	59,8	83,7	83,7	94,6
マト・グロソ・ド・スル	56,6	57,6	90,6	67,9	89,5
ミナス・ジェライス	77,9	94,5	80,0	78,4	70,4
その他	301,4	229,9	320,7	262,5	181,5
全国計	1.813,4	1.774,5	2.037,8	1.862,9	1.104,6

収穫面積 1.000ha	1.506,8	1.383,5	1.484,1	1.594,2	924,7
出所：IBGE					

表 127 綿(木綿)：過去5ヶ年間の生産推移 1.000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
セアラ	18,7	18,8	18,2	13,8	6,3
ピアウイ	5,3	9,0	7,0	1,5	4,2
パライーバ	7,4	3,9	9,2	4,4	3,4
ペルナンブコ	2,4	2,4	1,4	1,6	0,2
マト・グロソ・ド・スル	11,9	3,8	2,6	1,0	0,1
その他	1,4	0,3	0,1		
全国計	47,1	38,2	38,5	22,3	14,2

収穫面積 1.000ha	618,6	511,8	345,0	283,7	145,0
出所：IBGE					

表 128 綿(草綿)：主要生産地の反収 Kg/ha

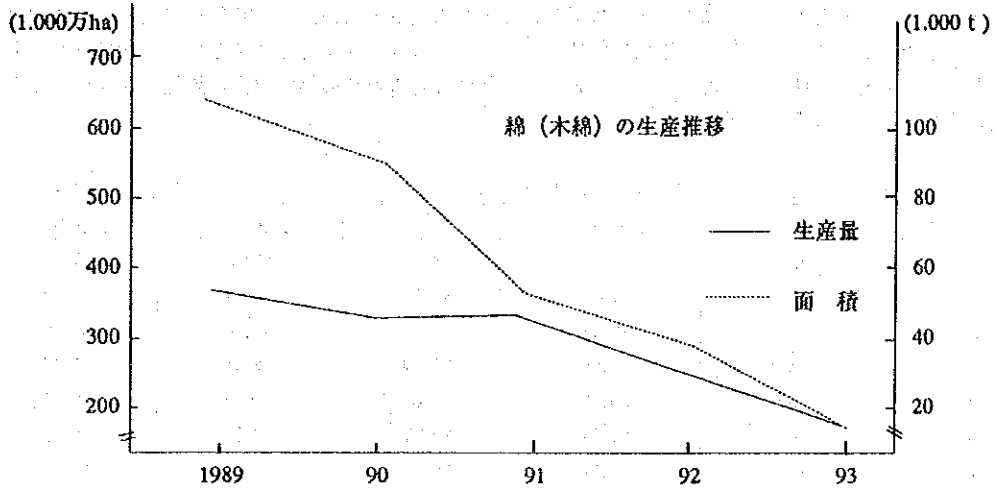
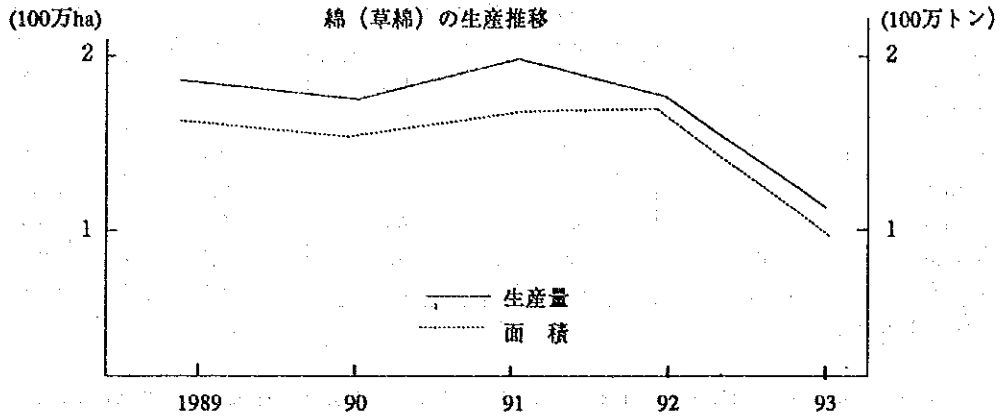
州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラナ	1.940	1.740	1.657	1.381	1.299
サン・パウロ	1.889	1.596	1.801	1.729	1.558
ゴヤス	2.294	1.685	1.946	1.557	2.477
マト・グロソ・ド・スル	1.323	1.327	1.745	1.161	1.263
ミナス・ジェライス	615	727	700	704	797
全国平均	1.203	1.283	1.373	1.169	1.194

出所：IBGE

表 129 綿(木綿)：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
セアラ	113	95	119	100	83
ピアウイ	40	72	75	29	115
パライーバ	94	55	159	74	144
ペルナンブコ	63	63	48	68	31
マト・グロソ・ド・スル	120	49	211	104	60
全国平均	76	75	112	79	98

出所：IBGE



ロ) 国際市場

ブラジルの繰綿市場は、輸入関税の撤廃以降、世界市場の動きに平行しているが、世界市場では需要に対する在庫量の割合が極度に高く買手市場となっている。世界の年度末在庫量、は89/90年の5,7百万トンより91/92年の8,9百万トンへと3,2百万トン(56,1%)の増加を示したあと、92/93年には0,7百万トン減少、更に93/94年には更に0,4百万トン減少する見込みであるが、これにしても19,0百万トンの需要量に対する世界の在庫としては極めて高い水準にある。

米国農務局(USDA)によると1993年の世界生産量は17,97百万トンで前年を(-)14%下廻っており、これに対する世界の消費量は、前年を7%上廻る18,67百万トンと推定されているため、世界の在庫を減少させ、依然として高いレベルながら価格に反映するものと予想している。世界在庫の減少は、中国、インド、及びパキスタンの減産と主要輸出国(米国、中国、インド、及びパキスタン)における国内消費の増加により93年11月頃より明らかとなってきた。

表 130

世界の繰綿需給状況

100万 t

区 分	1989/90	90/91	91/92	92/93	93/94
期首在庫	6,9	5,7	6,2	8,9	8,2
生産量	17,4	18,9	20,9	18,0	18,6
輸入量	7,1	6,7	6,4	5,6	5,8
供給量計	24,3	24,7	27,1	26,9	26,8
輸出量	6,8	6,5	6,2	5,5	5,9
需給計	18,9	18,6	18,4	18,7	19,0
期末在庫	5,7	6,2	8,9	8,2	7,8

出所：USDA

世界の綿市場におけるブラジルの立場は根本的に変化しており、伝統的な輸出国より大型の輸入国へと転換している。その輸入量は92/93農年において、世界輸入の7%を占めるにいたり、更に89/90農年の86千トンより92/93農年の400千トンにいたる増加率が極めて大きいところから、世界在庫の増加によってその販路を求めている主要生産国の注目を集めている。

綿の国際価格は供給過剰の状態に加えて、米国とECが在庫減少のため激しい競争を展開している中で、低価格が継続中である。最近2ヶ年間の平均価格は、ポンド当たり58セントで1990年の平均価格81セントと比較して30%近くの値下りである。米国、EC間に価格安定のための協定成立の見通しが無いことから、低価格は今後も継続するものと思われる。

表 131

繰綿の国際価格

US\$/ポンド

月 例	1989	1990	1991	1992	1993
1	63,27	74,78	83,58	59,20	57,34
2	63,02	77,02	85,17	56,27	60,60
3	65,63	79,63	84,00	55,46	61,45
4	73,22	81,68	82,09	58,51	61,05
5	76,92	80,74	83,64	60,65	60,14
6	78,64	81,48	83,77	64,26	58,42
7	82,35	83,17	80,72	65,18	60,04
8	82,91	81,12	73,01	59,55	55,98
9	81,73	81,23	70,09	56,23	58,75
10	82,06	81,63	67,83	52,92	...
11	82,35	82,51	63,39	52,77	...
12	77,68	83,97	61,70	54,30	...
平均	75,82	80,75	76,66	57,94	59,31

出所：USDA

ハ) 国内市場

世界の多くの国が自給態勢を目指して国内生産の増加を計っているのと反対にブラジルの綿作は減少を辿っており、国内需要の半分は外国製品によって補完されている状況にある。過去国内供給量の12%を限度としていた輸入量は、1992年に22%、93年は44%に達している。このため政府は、輸入関税の撤廃による原料補給の円滑化を図っているが、これが国内価格を低く押える理由となっているため、生産者団体は政府に対し、輸入関税の復活を要求しているものの承認されていない。このような状況下で生産者の間に綿作に対する興味が失われており、次期作付けは更に減少する見込みである。

1993年1月時点での繰綿価格は、供給量の減少からUS\$76,50を記録したが、その後輸入の増加に

よって9月にはUS\$ 59, 77/ポンドに落ちている。

1993年8月を基準とした綿花の生産者受取価格は、89年のCR618, -/15Kgより92年のCR442にかけて継続して低下したあと、93年2月には5年前の水準に戻っており、年間平均(1~8月)もCR513, -に復活した。政府の最低保証価格は、同じく93年8月を基準とした価格で88/89年におけるCR472, -/15Kgを最高、89/90年のCR312を最低のレベルとしているが、いずれの年も市場価格(生産者受取価格)よりも低く、事実上最低価格の利用は行われていない。

ブラジルの繰綿輸出は91年をもって100千トン台を終り、92年には35千トン、93年は8, 3千トンへと減少している。

表 132

繰綿の国内価格(サンパウロ取引所)

US\$/ポンド

月 例	1989	1990	1991	1992	1993
1	63,32	99,39	66,76	62,80	76,54
2	57,06	77,47	66,73	56,98	72,32
3	58,33	68,98	75,32	50,06	68,20
4	66,81	57,90	70,26	48,96	68,57
5	90,97	82,51	66,47	47,93	67,00
6	88,62	79,07	66,74	54,15	61,20
7	88,11	78,42	66,44	58,48	59,41
8	99,78	87,30	65,67	61,29	61,04
9	118,21	86,86	62,67	61,64	59,77
10	112,93	71,37	65,79	63,81	...
11	109,94	59,86	53,22	66,73	...
12	84,08	51,09	56,31	71,46	...
平均	86,51	75,02	65,20	58,69	66,01

出所: BOLSA DE MERCADORIAS & FUTUROS

表 133

綿花の生産者受取価格

CR/15Kg

月 例	1989	1990	1991	1992	1993
1	558	475	465	372	474
2	617	464	497	519	690
3	587	497	583	508	616
4	712	376	561	428	529
5	837	497	535	377	499
6	714	501	504	368	456
7	551	490	481	418	423
8	577	540	459	457	420
9	597	510	431	450	...
10	629	464	416	452	...
11	541	422	387	467	...
12	495	374	350	489	...
平均	618	468	473	442	513

出所: IEA 1993年8月を基準とした実質価格

表 134

綿花の最低保証価格

CR/15Kg

月 例	1988/89	89/90	90/91	91/92	92/93
1	130	193	126	119	104
2	501	286	431	391	384
3	480	272	402	412	379
4	457	346	369	427	372
5	477	317	347	422	361
6	413	306	315	417	355
7	374	297	392	414	353
8	406	263	339	330	353
9	378	236	292	259	353
10	270	206	232	207	353
11	337	176	184	167	353
12	332	151	151	135	353
平均	472	312	373	420	371

出所：CONAB 1993年8月を基準とした実質価格

表 135

繰綿の需給バランス

1,000 t

区 分	1989	1990	1991	1992	1993
1. 供給					
期首在庫	253,8	125,2	36,4	29,0	107,0
政府在庫	(99,0)	(25,0)	(0,0)	(0,0)	(10,4)
民間在庫	(154,8)	(100,2)	(36,4)	(29,0)	(96,6)
生産量	709,3	665,7	717,0	667,1	423,3
中央、南部	(576,6)	(577,6)	(603,0)	(585,9)	(366,8)
北部、東北部	(132,7)	(88,1)	(114,0)	(81,2)	(56,5)
輸入量	132,1	86,0	104,0	193,9	400,0
供給量計	1.095,2	876,9	857,4	890,0	930,3
2. 需要					
国内消費量	810,0	730,0	700,0	748,0	780,0
輸出量	160,0	110,5	128,4	35,0	8,3
需要量計	970,0	840,5	828,4	783,0	788,3
3. 期末在庫					
政府在庫	25,0	0,0	0,0	10,4	0,0
民間在庫	100,2	36,4	29,0	96,6	142,0
計	125,2	36,4	29,0	107,0	142,0

出所：CONAB, CTIC

二) 生産コスト

サンパウロ州農務局、農業経済研究所が発表した93/94農年の生産コスト予想は次表の通りである。

表 136

綿：生産コスト予想(93/94) A

項 目	C R		US\$		構 成 比 (%)
	1 haあたり	170-h'あたり	1 haあたり	170-h'あたり	
労 務 費	4.449	27,98	52,95	0,33	6,84

種 子	3,199	20,12	38,07	0,24	4,92
肥料・石灰	10,964	68,96	130,48	0,82	16,85
農 薬	10,065	63,30	119,78	0,75	15,47
機械維持費	12,998	81,75	154,69	0,97	19,97
収穫請負費	11,130	70,00	132,45	0,83	17,10
直接コスト計	52,805	332,11	628,41	3,95	81,14
機械償却費	5,224	32,86	62,17	0,39	8,03
金融費用	1,503	9,45	17,88	0,11	2,31
福 利 費	1,468	9,23	17,47	0,11	2,26
保 險 料	2,408	15,14	28,66	0,18	3,70
社会保障基金	1,670	10,50	19,87	0,12	2,57
合 計	65,078	409,30	774,47	4,87	100,00

出所：I E A サンパウロ州カンピーナス地区、機械耕作、1haあたり159アローバ収穫
 交換レート 1993年8月 US\$1,00=CR 84,03

表 137

綿：生産コスト予想（93/94） B

項 目	C R		U S \$		構 成 比 (%)
	1haあたり	170-hあたり	1haあたり	170-hあたり	
労 務 費	5,340	42,05	63,55	0,55	10,86
種 子	1,636	12,88	19,47	0,15	3,33
肥料・石灰	8,679	68,34	103,29	0,81	17,65
農 薬	3,109	24,48	37,00	0,29	6,32
機械維持費	11,248	88,57	133,86	1,05	22,87
収穫請負費	8,255	65,00	98,24	0,77	16,78
直接コスト計	38,268	301,33	455,41	3,59	77,81
機械償却費	4,619	36,37	54,97	0,43	9,39
金融費用	1,230	9,68	16,64	0,12	2,50
福 利 費	1,762	13,88	20,97	0,17	3,58
保 險 料	1,971	15,52	23,45	0,18	4,01
社会保障基金	1,333	10,50	15,87	0,12	2,71
合 計	49,184	387,27	585,31	4,61	100,00

出所：I E A サンパウロ州プレシアンテ・ブルデンテ地区、機械耕作、1haあたり127アローバ収穫
 交換レート 1993年8月 US\$1,00=CR 84,03

3・2・3 落花生

イ) 生産

表 138

落花生：1992年生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反 収 Kg/ha
サンパウロ	84,8	84,5	153,7	1.812
マトグランド・ド・メル	5,0	5,0	5,9	1.176
パラナ	2,4	2,4	3,8	1.552
バイア	2,6	2,6	2,8	1.070
ミナス・ジェライス	1,4	1,4	1,7	1.207
セルジッペ	1,3	1,3	1,5	1.182

その他	2,0	2,0	1,2	-
全国計	99,5	99,5	170,6	1,714

出所：IBGE

表 139

落花生：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
サンパウロ	71,8	71,8	137,2	1,912
パラナ	5,0	5,0	6,0	1,207
バイア	2,1	2,1	3,4	1,581
ミナス・ジェライス	2,1	2,1	1,6	768
セルジッペ	1,5	1,5	1,9	1,323
その他	1,3	1,3	1,4	1,123
その他	1,7	1,6	0,7	-
全国計	85,5	85,4	150,8	1,765

出所：IBGE

サンパウロ州が全国生産の90%を占める落花生の生産は、92年に過去5ヶ年間最高の170千トンに達したあと、93年は再び89年の規模であった150千トンに落ちた。93年の減産は、雨期作における降雨過剰によるものであり、これがなければ前年に近い生産をあげたものと思われる。

表 140

落花生：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州別	1989	1990	1991	1992	1993
サンパウロ	133,1	121,3	123,0	153,7	137,2
パラナ	5,7	5,8	4,3	5,9	6,0
バイア	3,8	3,5	3,3	3,8	3,4
ミナス・ジェライス	3,3	2,6	3,8	2,8	1,6
その他	1,1	0,9	0,9	1,7	1,9
その他	4,1	3,1	3,6	2,7	0,7
全国計	151,1	137,2	138,9	170,6	150,8

収穫面積 1,000ha	85,5	82,8	88,2	99,5	85,4
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

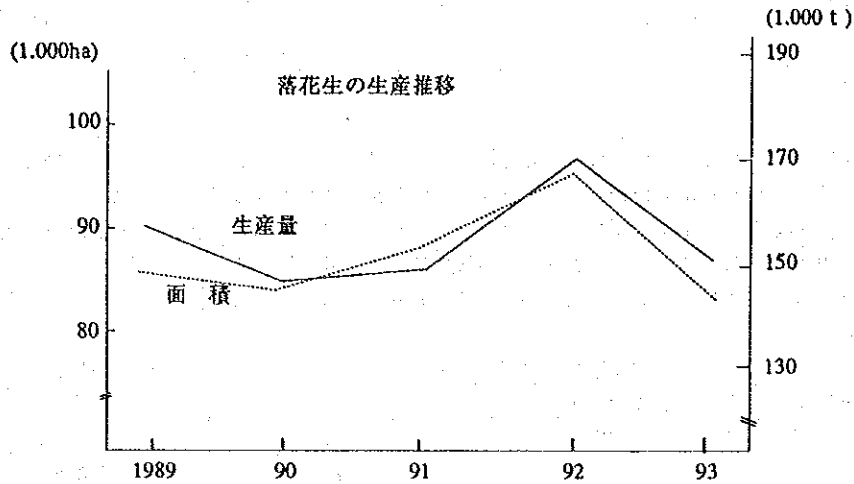
表 141

落花生：主要生産地の反収

Kg/ha

州別	1989	1990	1991	1992	1993
サンパウロ	1,901	1,771	1,685	1,812	1,912
パラナ	1,140	1,137	367	1,176	1,207
バイア	1,520	1,458	1,353	1,552	1,581
その他	1,178	1,083	1,211	1,070	768
全国平均	1,767	1,658	1,575	1,714	1,765

出所：IBGE



ロ) 国際市場

90年代の当初、世界の輸入国は主に中国とアルゼンチンによって供給されてきたが、92/93農年は中国における強度の乾燥とアルゼンチンにおける栽培面積の大巾な減少(-47%)により、両国共輸出余力を落しており、価格の上昇を招いたが、この機会を利用して米国の政府在庫によるヨーロッパ諸国への輸出が行われた。

表 142 落花生：世界の主要生産国

国 別	面 積 (1,000ha)		生 産 量 (1,000 t)	
	1992/93	1993/94	1992/93	1993/94
インド	5,670	5,000	8,750	8,650
中国	4,165	4,400	2,980	2,950
米国	1,458	1,300	677	671
ナイジェリア	810	820	1,050	1,040
セネガル	320	430	700	750
アルゼンチン	161	210	90	130
その他	3,941	4,040	5,870	6,008
世界計	16,525	16,200	20,317	20,199

出所：OIL WORLD

表 143 世界の落花生貿易量 (%)

輸出先国	オランダ	英 国	ド イ ツ	計
輸出国				
中国 1991	25,6	9,8	10,8	46,2
92	19,8	8,0	3,5	31,3
アルゼンチン 91	6,9	2,8	6,8	16,5
92	11,0	6,0	4,9	21,9
米国 91	6,5	12,4	4,6	23,5
92	10,0	16,4	12,0	38,4
その他 91	5,0	4,0	4,9	13,9
92	3,8	2,1	2,5	8,5

計	91	44,0	28,9	27,1	100,0
	92	44,7	32,4	22,9	100,0

出所：FOOD NEWS

93年の上半期における主要国の輸出価格は6月にかけて上昇したあと、7月には新期収穫物の入荷が開始されたことから、各国共価格を落したが、93/94農年の世界生産が米国の(-)11%、インドの(-)12%の減少予想から8月には早くも反発しており、いづれもトン当たり1,000ドルの線を越した。

業界誌OIL WORLDによるとアルゼンチンの増産により、米国及びインドの減産分はカバーされるとの見通しであるが、世界の供給量は減少し世界在庫水準を低下される予想である。

表 144 主要国の輸出価格 (1993年) US\$/FOBトン

月 例	アルゼンチン	米 国	中 国
2	750	850	775
3	...	865	825
4	780	875	...
6	850	992	900
7	825	925	875
8	1,000	1,085	1,100

出所：FODO NEWS

ハ) 国内市場

国内市場価格は、1~12月にかけて雨期栽培の収穫が行われるため低く、3月以降上昇に転じるのを季節的な価格動向としている。最近の例をみると92年2月の価格は1月に比して(-)24,2%、93年の場合は、(-)15,7%、又、93年2月の価格は前年の2月と比較して(-)33%低い水準であった。又、1992年の価格は年間を通じて91年よりも低く、これが92年の作付けを減少させた原因となっているが、93年に入ると3月以降の実質価格が前年を上廻ったため、93年の作付けを刺激することとなった。ただし93年/94年の雨期作が砂糖キビ栽培の拡大に押されて借地が困難な状況にあった。

表 145 落花生：生産者受取価格 CR/25Kg

月 例	1991	1992	92/91 (%)	1993	93/92 (%)
1	654	718	9,77	434	- 39,47
2	565	544	- 3,66	366	- 32,79
3	574	420	- 26,71	554	31,74
4	767	378	- 50,72	700	85,29
5	749	302	- 59,64	499	65,23
6	779	339	- 56,51	694	104,63
7	748	428	- 42,75	660	54,07
8	713	541	- 24,20	781	44,25
9	743	633	- 14,72
10	775	537	- 30,68
11	921	492	- 46,59
12	857	423	- 50,55

出所：IEA

二) 生産コスト

サンパウロ州農務局農業経済研究所 (IEA) が市内のマリア及びリベイロン・プレット地区の雨期作について行った生産コスト調査によると、直接コストの中でもっとも大きな比重を占めたのは機械維持費で、マリア地区において24%、リベイロン・プレット地区で20%の割合であった。

種子については前年に引き続き収穫物の1俵 (25Kg) と種子10Kgとの交換方式が行われている。種子と交換する現物を所有しない生産者に対しては、組合や工場が播種期に種子を貸付け、収穫期に収穫物で弁償させる方法をとっているが、この場合は、種子6Kgに対して収穫物1俵 (25Kg) の割合となっている。

IEAが算出した生産コスト (直接費) はマリア地区の場合、CR47, 244/haとなっているが、これに対するVBC (生産費融資額) は、CR22, 607/ha (1haあたり75俵収穫の場合) であり、更に融資枠は必要資金の80%に押えられているため生産者は生産コスト (直接費) の60%を自己資金で補完せねばならぬ状況にあった。ただし92/93農年の収益が良好であったため、融資需要は予想額を下回っている。

IEAが発表した93/94農年の生産コスト予想は次表の通りである。

表 146 落花生：生産コスト予想 (93/94) A

項目	C R		US\$		構成比 (%)
	1haあたり	1俵あたり	1haあたり	1俵あたり	
労務費	5,487	69,45	65,30	0,83	9,57
種子	8,277	104,77	98,50	1,25	14,44
肥料・石灰	4,977	63,01	59,23	0,75	8,68
農薬	10,087	127,69	120,05	1,52	17,60
機械維持費	13,849	175,30	164,81	2,09	24,16
風袋	2,946	37,29	35,06	0,44	5,14
輸送費	1,620	20,51	19,28	0,24	2,83
直接コスト	47,244	598,02	562,22	7,12	82,41
機械償却費	5,397	68,32	64,23	0,81	9,41
金融費用	829	10,50	9,87	0,12	1,45
福利費	1,811	22,92	21,55	0,27	3,16
保険料	1,329	16,82	15,81	0,20	2,32
社会保障基金	716	9,07	8,52	0,11	1,25
合計	57,326	725,64	682,20	8,64	100,00

出所：IEA サンパウロ州 マリア地区、機械耕作、1haあたり79俵 (25Kg) 収穫
 交換レート 1993年8月 US\$1,00=CR 84,03

表 147 落花生：生産コスト予想 (93/94) B

項目	C R		US\$		構成比 (%)
	1haあたり	1俵あたり	1haあたり	1俵あたり	
労務費	7,145	79,39	85,03	0,94	14,82
種子	7,739	85,99	92,10	1,02	16,05
肥料・石灰	5,060	56,23	60,22	0,67	10,49
農薬	5,234	58,15	62,28	0,69	10,85
機械維持費	9,924	110,26	118,10	1,31	20,58
風袋	1,800	20,00	21,42	0,24	3,73
輸送費	1,846	20,51	21,97	0,24	3,83
直接コスト	38,748	430,53	461,12	5,12	80,34
機械償却費	4,091	45,46	48,69	0,54	8,48

金融費用	829	9,21	9,87	0,11	1,72
福利費	2.358	26,20	28,06	0,31	4,89
保険料	1.329	14,76	15,81	0,18	2,76
社会保障基金	872	9,69	10,38	0,12	1,81
合計	48.227	535,86	573,93	6,38	100,00

出所：IEA サンパウロ州 リベイロン・プレット地区、機械耕作、1haあたり90俵(25Kg)収穫の場合
 交換レート 1993年8月 US\$ 1,00=CR 84,03

3・2・4 ヒマ

表 148 ヒマ：1992年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
バイア	132,5	128,1	79,0	616
サンパウロ	8,4	8,4	10,1	1.210
ピアウイ	8,1	8,1	5,1	631
ベルナンブコ	37,9	19,6	3,4	173
バラナ	1,6	1,6	2,0	1.257
セアラ	10,5	8,6	1,9	216
ミナス・ジェライス	0,4	0,4	0,4	1.002
その他	-	-	0,1	
全国計	199,4	174,8	101,8	582

出所：IBGE

表 149 ヒマ：1993年の生産状況

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
バイア	129,5	128,2	37,8	295
サンパウロ	3,2	3,2	4,5	1.409
ピアウイ	6,4	4,7	2,3	487
バラナ	1,2	1,2	1,6	1.300
ミナス・ジェライス	0,7	0,7	0,7	1.003
セアラ	4,4	0,9	0,3	300
ベルナンブコ	5,8	1,9	0,0	12
全国計	151,2	140,9	47,2	335

出所：IBGE

表 150 ヒマ：過去5ヶ年間の生産推移 1.000 t

州別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	62,3	100,3	84,9	79,0	37,8
サンパウロ	16,1	16,5	13,0	10,1	4,5
ピアウイ	14,6	4,8	6,7	5,1	2,3
バラナ	7,9	5,8	4,5	2,0	1,6
ミナス・ジェライス	2,4	2,1	0,4	0,4	0,7
セアラ	9,0	5,7	11,2	1,9	0,3
ベルナンブコ	14,5	12,3	8,1	3,4	0,0
全国計	128,6	147,7	129,2	101,8	47,2

収穫面積 1,000 ha	269,1	286,3	232,8	174,8	140,9
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

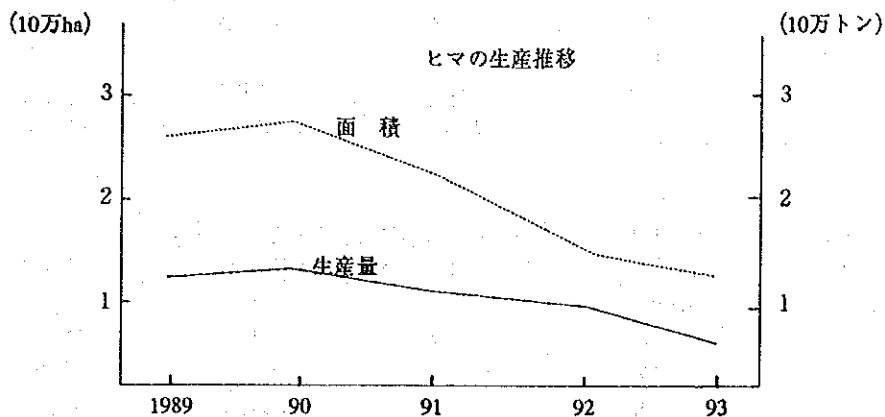


表 151

ヒマ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	356	491	524	616	295
サンパウロ	1,247	1,319	1,111	1,210	1,409
ピアウイ	1,057	348	658	631	487
パラナ	1,408	1,474	1,443	1,257	1,300
ミナス・ジェライス	519	822	1,002	1,002	1,003
セアラ	515	503	794	216	300
全国計	476	516	555	582	335

出所：IBGE

3・3 工業原料作物

3・3・1 砂糖キビ

イ) 生産

表 152

砂糖キビ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
サン・パウロ	1,889,5	1,889,5	145,500,0	77,044
ベルナンブコ	487,9	487,9	25,199,4	51,646
アラゴアス	447,9	447,9	22,668,7	50,608
ミナス・ジェライス	272,5	272,5	17,354,2	63,688
パラナ	185,9	185,9	13,570,5	73,003
パライーバ	152,5	152,5	7,914,9	51,917
ゴヤス	98,6	98,6	7,182,7	72,836
マト・グロソ	174,6	174,6	7,072,5	40,517
マト・グロソ・ノル	61,9	61,8	4,045,1	65,488
マツト・グロソ	59,4	59,4	3,670,0	61,744
バイア	71,5	71,5	3,283,0	45,912
セアラ	64,1	64,1	2,792,1	43,504

リオ・グランデ・ド・ノルテ	54,2	54,2	2.557,2	47.206
エスピリット・サント	34,5	34,5	1.870,9	54.276
マラニョン	37,1	35,4	1.708,5	48.239
セルジッペ	31,2	31,2	1.666,6	53.407
リオ・グランデ・ド・スール	32,8	32,8	1.024,3	31.201
その他	47,3	47,0	2.351,3	-
全国計	4.203,4	4.201,3	271.431,9	64.607

出所：IBGE

表 153 砂糖キビ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
サン・パウロ	1.895,7	1.895,7	148.647,0	78.411
アラゴアス	387,7	387,7	17.939,9	46.276
ミナス・ジェライス	266,3	260,7	15.742,8	60.390
ペルナンブコ	433,1	368,4	15.652,7	42.489
パラナ	190,0	190,0	13.775,0	72.500
パラíba	149,0	148,6	7.816,3	52.610
ゴヤス	95,1	95,1	6.933,8	72.938
リオ・グネイロ	166,9	166,9	6.884,6	41.261
マツト・グロツン	71,3	71,3	4.842,0	67.928
マト・グロツン・スール	64,2	64,2	4.333,6	67.520
バイア	73,6	73,6	3.474,7	47.227
エスピリット・サント	33,9	33,9	1.890,8	55.856
マラニョン	35,4	35,0	1.844,3	52.686
リオ・グランデ・ド・ノルテ	55,4	55,4	1.801,7	32.538
セアラ	47,3	45,8	1.605,9	35.042
セルジッペ	27,8	27,7	1.570,9	56.761
リオ・グランデ・ド・スール	33,3	33,3	1.044,0	31.347
その他	47,4	47,1	2.404,8	-
全国計	4.073,4	4.000,4	258.204,8	64.545

出所：IBGE

1993年の4月より開始された砂糖キビの収穫は、4,000千ヘクタールの面積で行われ、258,2百万トンの生産をあげた。全国平均の反収は64,5トン/haでサンパウロ州の78,4トンを最高、リオ・グランデ・ド・スール州の31,3トンを最低としている。

93年の収穫面積は、過去5ヶ年間で最も少なく、生産量も89年のみに勝る低いものであった。このような生産規模の縮小は、東北地方が乾燥の被害を受け、栽培面積を前年の1,34百万ヘクタールより1,16百万トンに落したためであったが、サンパウロ州に代表される南東地方の栽培面積は前年と同規模であり、かつ作柄がよく、過去5ヶ年間最高の反収を得たことから、全国的な面積の減少分がカバーされている。

国内の生産地帯は、南東地方が全国生産の67%を占めて最も大きく、中でもサンパウロ州だけで全国生産の57,6%と圧倒的な立場にある。地域別では東北地方の20,4%がこれに次ぎ、この中に含まれるアラゴアス州及びペルナンブコ州は、全国生産のそれぞれ6%及び7%を占める主要生産地帯である。

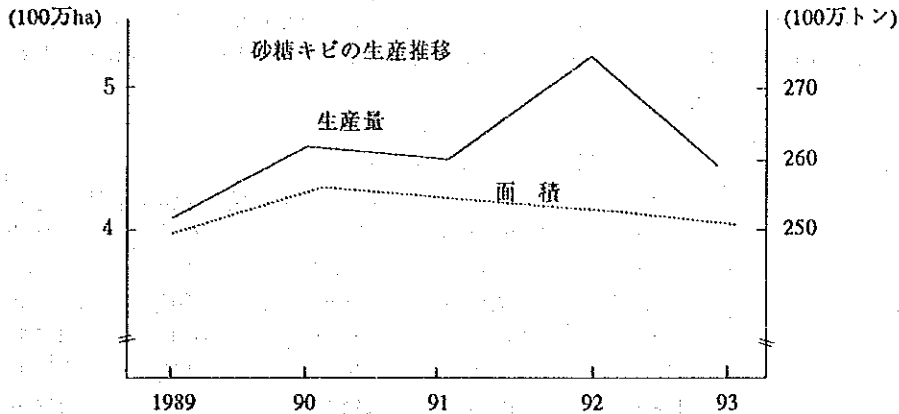


表 154 砂糖キビ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サンパウロ	131,705.2	137,835.0	136,200.0	145,500.0	148,647.0
アラゴアス	23,208.0	26,151.0	22,214.5	22,668.7	17,939.9
ミナス・ジェライス	17,006.2	17,533.4	17,588.3	17,354.2	15,742.8
ベルナンブコ	24,508.1	22,817.7	23,505.5	25,199.4	15,652.7
バラナ	12,337.5	11,736.4	12,218.6	13,570.5	13,775.0
パラíba	8,647.3	8,254.8	8,115.4	7,914.9	7,816.3
ゴヤス	6,640.0	6,896.3	7,136.1	7,182.7	6,933.8
その他	28,590.3	31,380.0	33,860.4	32,041.5	31,697.3
全国計	252,642.6	262,604.6	260,838.8	271,431.9	258,204.8

収穫面積 1,000 ha	1989	1990	1991	1992	1993
	4,075.8	4,270.9	4,210.9	4,201.3	4,000.4

出所：IBGE

表 155 砂糖キビ：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サンパウロ	80.609	76.069	73.526	77.004	78.411
アラゴアス	47.304	46.819	45.917	50.608	46.276
ミナス・ジェライス	57.808	58.824	63.647	63.688	60.390
ベルナンブコ	53.581	48.831	50.317	51.646	42.489
バラナ	75.000	73.621	70.916	73.003	72.500
パラíba	54.467	52.936	52.141	51.917	52.610
ゴヤス	70.450	90.407	70.017	72.836	72.938
全国平均	61.985	61.487	61.943	64.607	64.545

出所：IBGE

ロ) 砂糖の国際市場とブラジルの輸出

米国農務局 (USDA) が93年末に発表した世界の砂糖需給バランスによると、消費量と在庫量との割合は前年に続いて減少しており、92/93農年末の比率19,60%は次農年には17,76%落ちる見通しであり、この比率を主要指標とする砂糖価格の上昇が予想されている。

USDAのデータによると世界の生産量は、91/92農年の116,27百万トンに対し、92/93農

年が112,000百万トン、93/94農年は112,360百万トンの予想である。これに対し世界の消費量は、91/92農年の111,610百万トンより93/94農年には114,260百万トンに増加する予想となっている。

表 156 世界の砂糖需給バランス 100万トン

区 分	1989/90	90/91	91/92	92/93 (推定)	93/94 (予想)
期首在庫	19,44	19,50	21,91	24,47	22,19
生産量	108,73	113,97	116,27	112,00	112,36
輸入量	28,17	27,32	28,68	27,65	28,19
供給量計	156,34	160,76	166,85	164,03	162,74
輸出量	28,56	28,55	30,77	28,61	28,19
消費量	108,19	110,28	111,61	113,24	114,26
期末在庫	19,50	21,95	24,47	22,19	20,29
在庫/消費比率 (%)	18,02	19,90	21,92	19,60	17,76
砂糖価格 US\$	13,93	9,39	9,23	12,50	11,00

出所: USDA

世界の主要生産国及び消費国における過去3年間の推移は次表の通りである。世界の生産国の中、ヨーロッパ連合は、生産コストの増大にかかわらず大型の補助のもとに生産と輸出を拡大している。インド及び中国は大型の生産国ながら国内消費が大きいため、国際貿易の参加率は低く、中国の場合は、大型の輸入国となる傾向がある。ブラジル、ウクライナ及びオーストラリアは、生産量、輸出量共増加傾向にある。これに対しキューバ及びメキシコは減少傾向である。

米国はとうもろこし・シロップの生産増加により砂糖の輸入を減少しつつある。又、ロシアと日本は中期的にみて重要な輸入国としての立場を続けるものと見通されている。

タイはこの3年間生産を落しているが、長期的には生産を増加するものと予想されている。

USDA及びOIAのデータにもとづく砂糖の国際市場における主要12ヶ国の生産、輸出及び輸入状況は次表の通りである。

表 157 世界の砂糖市場、主要12ヶ国の生産、輸出入動向 100万トン

国又はブロック	生 産			輸 出 入 ()は輸入		
	91/92	92/93	93/94	91/92	92/93	93/94
ヨーロッパ連合	15,7	16,9	16,7	3,0	3,6	3,8
インド	15,3	12,5	13,3	0,6	0,4	(0,3)
ブラジル	9,2	9,8	9,8	1,6	2,4	2,3
中 国	8,5	8,3	7,4	0,2	0,6	(0,4)
キューバ	7,0	4,3	4,5	6,0	3,7	3,7
米 国	6,6	7,1	6,7	(1,4)	(1,4)	(1,1)
タ イ	5,1	3,7	4,2	3,7	2,6	2,8
ウクライナ	4,2	3,8	4,3	0,8	1,1	1,7
メキシコ	3,5	4,3	3,9	(0,2)	(0,1)	(0,2)
オーストラリア	3,2	4,4	4,2	2,3	3,2	3,2
ロ シ ア	1,9	2,6	2,5	(3,8)	(3,4)	(3,4)
日 本	1,0	0,9	0,8	(1,8)	(1,8)	(1,8)

出所: OIA, USDA

(ブラジルの砂糖輸出状況)

表 158

砂糖の輸出実績 (重量)

1,000 t

年 度	結 晶 糖	粗 糖	精 製 糖	計
1987	193	908	1,093	2,194
88	92	892	781	1,764
89	116	433	504	1,053
90	101	825	577	1,503
91	174	803	506	1,483
92	655	681	809	2,145
93	1,378	727	874	2,979

(金額)

100万ドル

1987	31	134	159	324
88	16	167	162	345
89	33	114	159	306
90	37	289	186	512
91	47	208	142	397
92	161	168	211	540
93	347	196	230	773

出所: CTIC

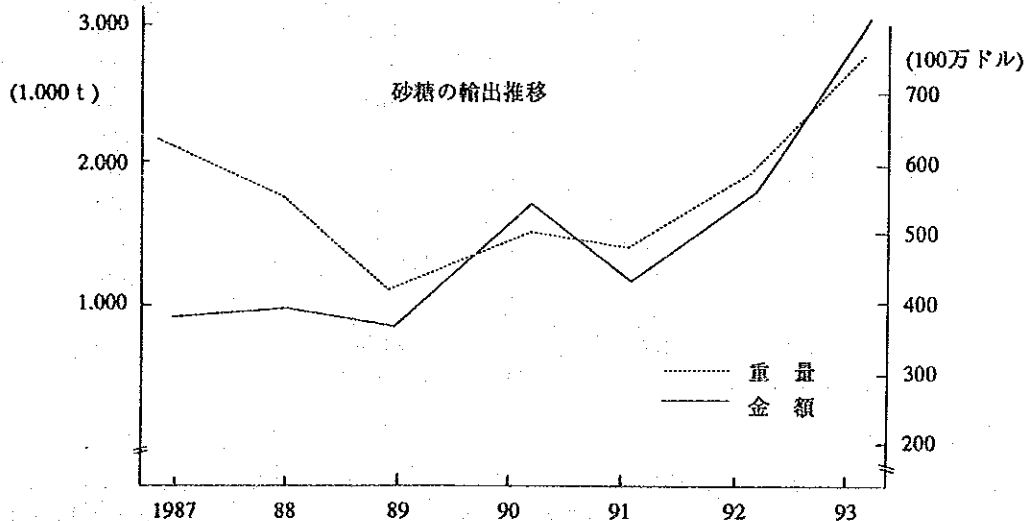


表 159

粗糖の輸出先市場 (1993年)

輸出先国	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
米 国	184,6	76,9	417
ポルトガル	102,9	25,2	245
ロ シ ア	97,2	23,4	240
モロッコ	94,7	20,7	291
フィンランド	44,3	9,4	212

ルーマニア	43,5	8,9	204
ウルグアイ	19,1	3,9	203
その他	141,0	27,4	-
計	727,3	195,8	269

出所：SECEX/DTIC

NBM, 1701.11.0200

表 160 結晶糖の輸出先市場（1993年）

輸出先国	重量 1.000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
ロシア	235,9	57,3	243
エジプト	176,3	46,6	265
イエメン	132,9	33,2	249
ナイジェリア	126,5	31,7	251
モロッコ	113,2	28,7	254
スリランカ	82,3	20,4	248
ジョルダン	58,2	15,8	271
リビア	54,9	13,7	249
その他	397,5	99,4	-
計	1.377,7	346,8	252

出所：SECEX/DTIC

NBM, 1701.11.0100

表 161 精製糖の輸出先市場（1993年）

輸出先国	重量 1.000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
ナイジェリア	368,7	97,5	265
イラン	208,0	54,4	261
ジョルダン	65,4	18,6	284
ツニジア	64,9	16,9	260
ガーナ	54,5	14,0	256
チリー	18,8	4,8	254
ウクライナ	16,0	3,9	246
ロシア	11,3	3,2	280
その他	67,3	16,7	-
計	874,9	230,0	263

出所：SECEX/DTIC

NBM, 1701.99.0100

ハ) 国内アルコール市場

93年4月に終わった92/93農年のアルコール生産量は11.683千³mで、同農年に対して設定された生産計の88,5%を達成している。1993年の国内消費量は11.952千³mであったので国内生産量を上廻っており、次期への繰越分を含めた不足分が外国品（エタノール及びメタノール）によって補充された。地域開発省が発表したアルコールの生産状況は次表の通りである。

表 162

92/93 農年のアルコール生産実績及び生産計画達成率

地域及び州別	アルコール生産量 m^3			生産計画達成率 (%)		
	無水アルコール	含水アルコール	計	無水アルコール	含水アルコール	計
北部地方						
パラ	-	7.637	7.637	-	88,8	88,8
トカンチンス	-	6.120	6.120	-	61,2	61,2
小計	-	13.757	13.757	-	73,4	73,4
東北地方						
アラゴアス	143.331	574.620	717.951	85,0	86,9	124,9
ペルナンブコ	88.476	344.345	432.821	76,5	72,1	116,2
パライーバ	24.062	223.852	247.914	81,3	81,3	81,3
リオグランデ・ド・ノル	22.803	74.066	96.869	95,0	89,0	90,4
パイア	-	35.765	35.765	-	81,3	81,3
マラニョン	-	16.169	16.169	-	48,1	48,1
セルジッペ	-	34.776	34.776	-	119,5	119,5
ピアウイ	-	24.256	24.256	-	80,9	80,9
セアラ	-	5.123	5.123	-	27,4	27,4
小計	278.672	1.332.972	1.611.644	78,7	81,3	80,8
北部東北部計	278.672	1.346.729	1.625.401	78,7	81,2	80,8
中西部地方						
ゴヤス	31.215	279.497	310.712	61,2	85,6	82,3
マト・グロソ・ド・スル	16.873	227.315	244.188	49,6	90,5	85,5
マト・グロソ	21.600	213.094	234.694	86,4	87,7	87,6
小計	69.688	719.906	789.594	63,3	87,8	84,9
南東部地方						
サンパウロ	1.713.774	6.212.089	7.925.863	95,2	91,4	92,2
ミナス・ジェライス	56.000	345.669	401.669	70,0	79,4	77,9
リオ・デ・ジANEIRO	304	104.734	105.038	2,0	56,5	52,4
エスピリット・サント	926	93.998	94.924	5,8	82,7	73,2
小計	1.771.004	6.756.490	8.527.494	92,7	89,7	90,3
南部地方						
パラナ	97.022	635.342	732.364	86,4	93,1	92,1
サンタ・カタリーナ	-	5.285	5.285	-	82,2	82,2
リオ・グランデ・ド・メル	-	2.997	2.997	-	59,9	59,9
小計	97.022	643.624	740.646	86,4	92,7	91,9
中央南部計	1.937.714	8.120.020	10.057.734	90,8	89,7	89,9
全国計	2.216.386	9.466.749	11.683.135	89,1	88,4	88,5

出所：DSA/MIR

表 163

アルコールの推定消費量

1.000 m^3

年 度	含水アルコール	無水アルコール	計
1984	2.081,9	4.468,2	6.550,1
85	2.120,7	5.932,1	8.052,8
86	2.442,4	8.226,0	10.668,4
87	1.942,0	8.712,9	10.654,9

88	1.986,2	9.644,1	11.630,3
89	1.723,9	10.880,0	12.603,9
90	1.300,6	10.205,0	11.505,6
91	1.646,6	10.251,1	11.897,7
92	1.899,0	9.630,9	11.529,8
93	2.548,3	9.404,3	11.952,6

出所：DATARGO

93年中にアルコール部門に対して行われた政策としては、ガソリンの無水アルコールの含有率を全国一律に2.2%に上げたことがあげられる。これは、90年末に発生したアルコール不足の際、その対策として大サンパウロ圏を除き、全国的にガソリンの混入率を1.3%に制限していたのをアルコール生産の回復に伴ない復活させたものである。

アルコールのガソリン混入率の引上げについては、環境対策面においても100%ガソリンの場合よりも大気の汚染度が少ないという面もあり、混入率の引上げは環境法案の項目として国会の承認を受け大統領裁決により法律化された。尚、ガソリンの2.2%混入はアルコール車の割合を全車輛の40%とすることを目標とした国家アルコール計画の基本目標でもある。

93年には又、コーヒー、ココア及び砂糖キビを農業部門の中の特別対策項目としてとりあげ、この問題を討議する委員会が設置されている。

イタマル政府のアルコール部門対策としては、このほか、イ) 砂糖キビ部門に対する生産費融資資金として500百万ドルの解除、ロ) アグロインダストリー部門に対しても同額の融資、ハ) 工場が保有するストックの買上げ資金として170百万ドルの解除、ニ) インフレにより実質価格が低下したアルコール価格の調整及びPRONAL (アルコール及び牛乳生産振興計画) などがある。

PRONALは、奥地方における牧畜の振興と合わせ砂糖キビの生産増加を図ろうとするもので、各農家が自家用アルコールの生産に必要な砂糖キビを搾汁したあとのバガスの家畜飼料として利用させ、余剰分を乾期用の飼料として貯蔵させることを目的としたもので、自家用として消費した残りの余剰分を一般燃料として販売させることも考えられており、これらの計画を実施するための資金融資を行おうとするものであった。アルコール生産の地方分散による環境汚染の回避も目的の中の1つとなっている。

3・3・2 マンジョカ

イ) 生産

表 164 マンジョカ：1992年生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反 収 Kg/ha
バイア	298,3	298,3	3.770,8	12.643
バラ	207,2	206,0	2.626,6	12.747
バラナ	97,5	97,5	2.196,1	22.527
マラニョン	236,9	232,8	1.646,0	7.069
パ・ダ・ラヂャ・ド・ノール	106,1	106,1	1.551,3	14.623
ピアウイ	143,3	143,3	1.099,2	7.670
サンタ・カタリーナ	56,8	56,8	1.017,9	17.929
ベルナンブコ	105,5	103,6	1.016,8	9.811
その他	583,3	581,8	6.992,8	-
全国計	1.834,9	1.826,2	21.917,5	12.002

出所：IBGE

表 165 マンジョカ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バイア	282,8	282,8	3.363,9	11.893
パラ	250,7	250,0	3.341,8	13.368
パナ	137,0	137,0	3.014,0	22.000
マニョン	269,2	238,6	1.958,1	8.208
サント・カタリーナ	108,4	108,4	1.635,9	15.090
ピアウイ	110,9	102,0	1.025,2	10.054
ミナス・ジェライス	78,5	78,5	1.020,9	13.004
サンタ・カタリーナ	56,4	56,4	1.018,2	18.043
その他	604,0	584,1	6.252,3	-
全国計	1.897,9	1.837,8	22.630,3	12.334

出所：IBGE

IBGEのデータによると92/93農年におけるマンジョカの実績は、前年とほぼ同等の面積（1,8百万ヘクタール）で行われたが、反収の向上により前年を3,2%上回る22,6百万トンの生産量であった。主要生産地帯では全般に生産を増加しているが、国内最大のマンジョカ生産地帯を持つバイア州では、91年以降続いた乾燥の被害により生産は下降しており、93年の生産量は過去5ヶ年間最低の規模に落ちている。バイア州に限らず東北地方は、全般に乾燥による被害が観察されている。地域の商人によるマンジョカ粉の大量買付けや、政府の地域内食糧配給計画などが乾燥による食糧の不足を物語っている。

中央南部地方で94年の当初より開始されている次期農年の収穫も前半に劣るものと予想されている。

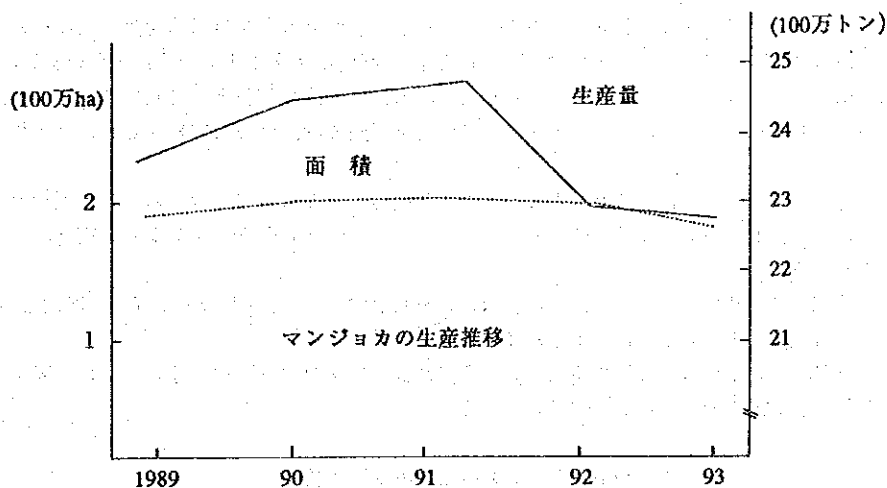


表 166 マンジョカ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	4.022,7	4.152,3	4.243,5	3.770,8	3.363,9
パラ	2.609,6	2.857,5	2.962,5	2.626,6	3.341,8
パナ	1.743,0	2.184,6	2.261,8	2.196,1	3.014,0
マニョン	1.855,6	1.782,2	1.962,6	1.646,0	1.958,1
サント・カタリーナ	1.644,7	1.738,1	1.500,8	1.551,3	1.635,9
その他	11.792,9	12.714,0	11.599,6	10.126,7	9.316,6

全国計	23.668,5	24.284,7	24.530,8	21.917,5	22.630,3
-----	----------	----------	----------	----------	----------

収穫面積 1.000ha	1.880,9	1.933,6	1.943,1	1.826,2	1.837,8
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

出所：IBGE

表 167

マンジョカ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	12.571	12.753	12.550	12.643	11.893
バラ	13.174	12.395	17.769	12.747	13.368
パラナ	21.000	21.448	22.117	22.527	22.000
マラニョン	7.987	7.853	8.264	7.069	8.208
ピオラザダ・ド・スール	13.571	14.309	13.376	14.623	15.090
全国平均	12.584	12.559	12.624	12.002	12.334

出所：IBGE

ロ) 国内市場

サンパウロ市場における1993年のマンジョカ及びこれを原料とする澱粉価格は3～9月にかけて実質的な値下りがあった。前年の価格が90年代でもっとも高かったためでもあるが、93年9月の生産者受取価格において(-)37%、マンジョカ粉の卸市場価格において(-)14%の低下となっている。

最大の市場である東北地方での購買力の低下、他の粉類とくにより安い米の粉末への代替等もマンジョカ価格を落した理由の中に数えられるが、この価格水準でも生産者のマンジョカ栽培に対する興味は失われていない。

政府が保有しているマンジョカ粉の在庫は極めて少量であり、かつその大半は飢餓対策に向けられるので市場に放出する余裕はなく、民間のストックも少量のため、次期の収穫が始まるまで価格は上昇の見込みである。更に乾燥が続く東北地方ではマンジョカの苗も枯死したり、家畜の最後の飼料として利用されているため、次期植付けのための苗も不足する状況にあり、供給量が需要量を下回る状況はなお継続するものと予想されている。

マンジョカ澱粉にとって直接の競合品であるとうもろこし澱粉もその原料のとうもろこしの生産が十分ではなく、とうもろこし自体も価格上昇の傾向にあるが、とうもろこし価格の動向はマンジョカ価格に大きな影響を与える作物でもある。

メルコスール諸国及びボリビア向澱粉の輸出は、これらの地域に対する関税率の引下げから増加しつつある。将来はヨーロッパも重要な市場の一つと考えられている。

農業融資、最低価格等にかかわる農業政策(93年7月発表)もマンジョカの生産にとくに影響を与えるものではなく、最低価格も前年のレベルが継続されている。

表 168

工業原料用マンジョカの生産者受取価格

CR/t

月 例	1990	1991	1992	1993
1	3.507	2.647	3.377	6.832
2	2.667	2.571	3.857	6.752
3	2.388	3.057	4.694	5.585
4	2.259	2.938	5.207	4.975
5	2.634	3.022	4.947	4.213
6	2.574	2.541	4.575	4.052
7	2.395	2.728	4.619	3.492
8	2.195	2.953	5.700	3.607

9	2.305	2.984	6.132	3.859
10	2.162	2.925	6.309	...
11	2.469	3.080	6.527	...
12	2.423	2.935	6.715	...

出所：IEA 1993年9月を基準とした実質価格

表 169 サンパウロ市卸市場のマンジョカ粉 価格 CR/50Kg

月 例	1990	1991	1992	1993
1	71,72	53,44	57,61	66,54
2	96,71	29,91	60,89	63,02
3	92,45	26,74	65,63	65,19
4	72,60	26,81	66,67	59,40
5	63,29	26,07	70,74	57,85
6	55,56	29,44	66,10	55,10
7	55,65	34,00	63,48	50,79
8	52,25	29,76	60,10	47,15
9	50,09	30,94	55,07	47,33
10	46,28	36,23	60,42	...
11	46,79	44,12	61,90	...
12	49,72	48,17	63,31	...

出所：IEA 1993年9月を基準とした実質価格

ハ) 生産コスト

サンパウロ州農務局農業経済研究所が発表した93/94農年の生産コスト予想は次表の通りである。

表 170 マンジョカの実産コスト予想 (93/94年)

項 目	C R		U S \$		構 成 比 (%)
	1haあたり	1tあたり	1haあたり	1tあたり	
労 務 費	16.202,50	900,14	192,82	10,71	43,45
抗	2.790,00	155,00	33,20	1,84	7,48
石 灰	852,50	47,36	10,15	0,56	2,29
農 薬	350,00	19,44	4,17	0,23	0,94
機械維持費	6.074,11	337,45	72,29	4,02	16,29
小 計	26.269,11	1.459,40	312,62	17,37	70,44
機械償却費	2.297,07	127,61	27,34	1,52	6,16
金融費用	1.077,28	59,85	12,82	0,71	2,89
福 利 費	5.346,83	297,05	63,63	3,53	14,34
保 險 料	1.481,58	82,31	17,63	0,98	3,97
社会保障費	819,72	45,54	9,76	0,54	2,20
合 計	37.291,58	2.071,75	443,79	24,65	100,00

出所：IEA 交換レート 1993年 8月US\$ = CR84,03

サンパウロ州パラナパネマ地区、機械耕作 1haあたり18トン生産の場合

3・3・3 煙草葉

表 171

煙草葉：1992年生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・ノル	154,0	153,9	283,1	1.839
サンタ・カタリーナ	108,7	107,6	198,2	1.842
パラナ	31,1	31,1	61,0	1.962
アラゴアス	28,3	28,3	22,4	791
バイア	15,4	15,4	7,6	493
その他	6,8	6,8	5,2	-
全国計	344,3	343,1	577,5	1.633

出所：IBGE

表 172

煙草葉：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・ノル	161,9	161,6	318,7	1.972
サンタ・カタリーナ	125,7	125,7	225,6	1.795
パラナ	39,0	39,0	76,0	1.949
アラゴアス	31,7	31,7	26,2	825
バイア	15,1	15,1	9,9	658
その他	7,4	7,3	6,1	-
全国計	380,8	380,4	662,5	1.741

出所：IBGE

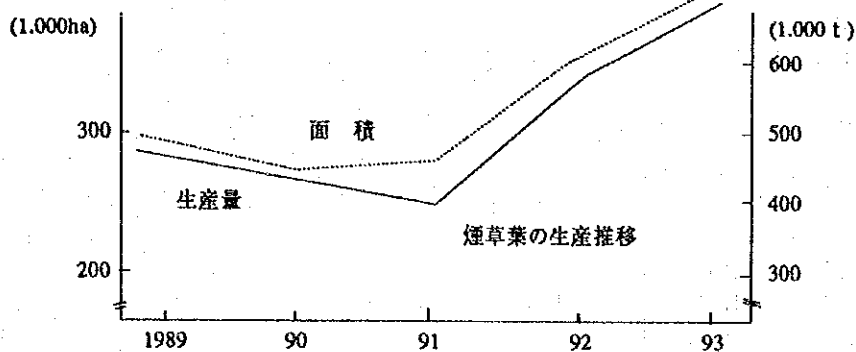


表 173

煙草葉：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
リオ・グランデ・ド・ノル	201,2	204,6	186,6	283,1	318,7
サンタ・カタリーナ	156,7	152,4	145,6	198,2	225,6
パラナ	46,6	40,3	41,8	61,0	76,0
アラゴアス	22,1	31,6	22,2	22,4	26,2
バイア	14,7	10,5	11,6	7,6	9,9
その他	7,7	5,0	5,5	5,2	6,1
全国計	449,0	444,4	413,3	577,5	662,5

収穫面積 1,000ha

289,1

272,4

285,7

343,1

380,4

出所：IBGE

表 174

煙草業：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
ポ・グランデ・ド・ヌール	1.722	1.772	1.515	1.839	1.972
サンタ・カタリーナ	1.600	1.809	1.708	1.842	1.795
バラナ	1.850	1.792	1.931	1.962	1.949
アラゴアス	1.200	1.189	725	791	825
バイア	784	623	701	493	658
全国計	1.531	1.632	1.446	1.683	1.741

出所：IBGE

表 175

煙草業の輸出先市場

輸出先国	重量 1.000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
米 国	31,4	109,7	3.495
ド イ ツ	14,2	57,3	4.039
ベルギー	9,8	40,3	4.101
日 本	4,8	20,1	4.149
エジプト	4,0	13,0	3.250
カナダ	3,1	11,9	3.852
そ の 他	61,8	242,9	-
計	129,1	495,2	3.835

出所：SECEX/DTIC

NBM. 2401.20.9901

3・3・4 サイザル

表 176

サイザル：1992年生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反 収 Kg/ha
バイア	195,8	195,8	149,7	765
パラíba	64,0	64,0	50,9	796
ポ・グランデ・ド・ノル	3,6	3,6	3,0	828
ベルナンブコ	0,9	0,7	0,5	745
そ の 他	0,1	0,1	0,1	-
全国計	264,4	264,2	204,2	773

出所：IBGE

表 177

サイザル：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反 収 Kg/ha
バイア	142,4	142,4	118,9	835
パラíba	59,9	59,9	43,6	727
ポ・グランデ・ド・ノル	3,1	3,1	2,4	799
ベルナンブコ	0,5	0,5	0,3	662
そ の 他	0,2	0,1	0,2	-
全国計	206,1	206,0	165,4	803

出所：IBGE

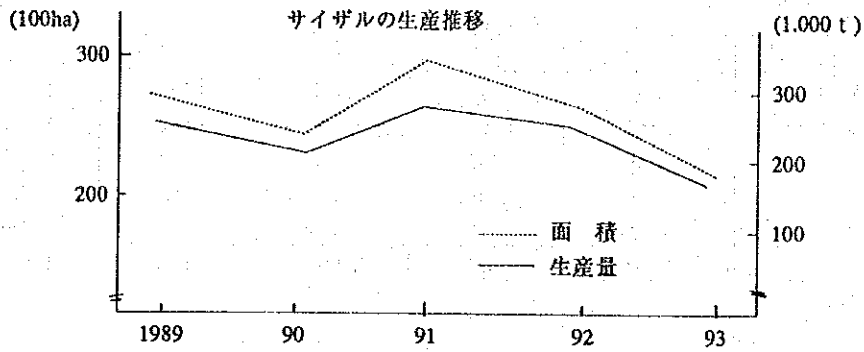


表 178 サイザル：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バ イ ア	150.0	119.1	164.4	149.7	118.9
パラíba	67.2	57.3	58.7	50.9	43.6
リオ・グランデ・ド・ノルテ	7.6	8.0	5.6	3.0	2.4
ペルナンブコ	1.1	0.5	0.9	0.5	0.3
そ の 他	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
全国計	221.0	185.1	233.7	204.2	165.4

収穫面積 1,000ha	270.2	249.2	300.3	264.2	206.0
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表 179 サイザル：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バ イ ア	800	700	771	765	835
パラíba	890	830	788	796	727
リオ・グランデ・ド・ノルテ	872	912	907	828	799
ペルナンブコ	850	500	787	745	662
全国平均	818	743	778	773	803

出所：IBGE

3・3・5 ジュート及びマルバ

表 180 ジュート：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バ ラ ー	1.6	1.3	1.7	1.332
アマゾナス	1.4	1.3	1.6	1.210
全国計	3.0	2.6	3.3	1.271

出所：IBGE

表 181 ジュート：1993年の生産状況

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
パラ	1,4	1,2	1,7	1,365
アマゾン	1,0	1,0	1,3	1,270
全国計	2,4	2,2	3,0	1,321

出所：IBGE

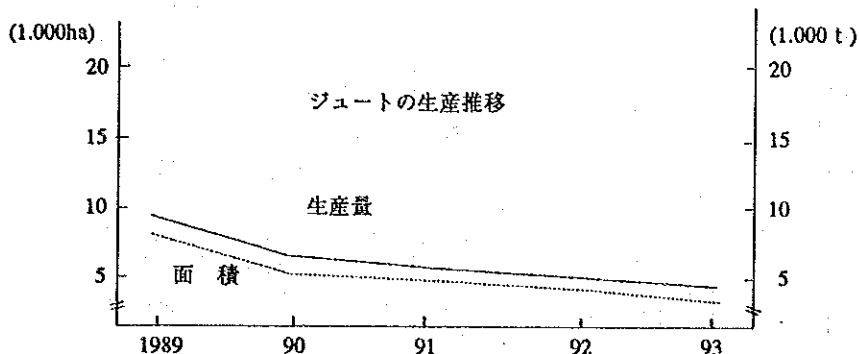


表 182 ジュート：過去5ヶ年間の生産推移

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラ	2,4	0,8	1,7	1,7	1,7
アマゾン	5,9	2,8	1,6	1,6	1,3
全国計	8,3	3,6	3,3	3,3	3,0

収穫面積 1,000ha	7,1	3,0	2,8	2,6	2,2
--------------	-----	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表 183 ジュート：主要生産地の反収

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラ	1,018	1,246	1,258	1,332	1,365
アマゾン	1,200	1,200	1,070	1,210	1,270
全国計	1,176	1,210	1,159	1,271	1,321

出所：IBGE

表 184 マルバ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
アマゾン	6,6	6,1	11,8	1,934
パラ	8,2	7,4	5,6	760
マラニョン	2,9	2,6	2,0	771
全国計	17,7	16,1	19,4	1,205

出所：IBGE

表 185

マルバ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
アマゾン	7,0	7,0	14,0	1,997
パラ	2,6	2,6	1,9	764
マラニョン	1,0	0,8	0,6	716
全国計	10,6	10,4	16,5	1,596

出所：IBGE

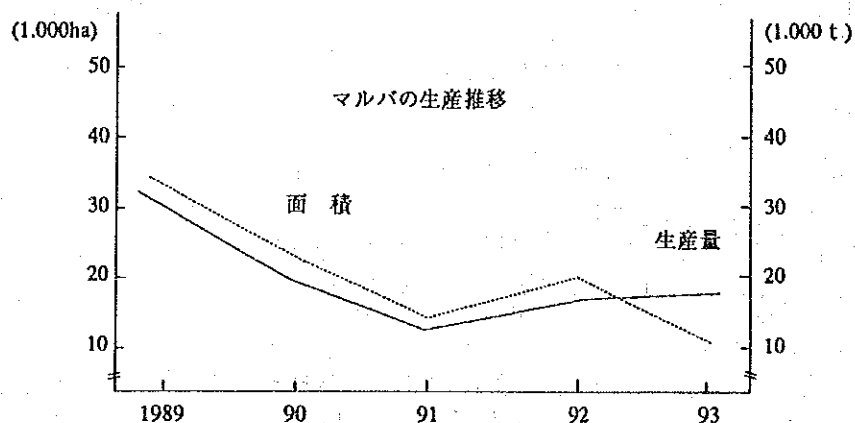


表 186

マルバ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
アマゾン	27,8	5,2	2,8	11,8	14,0
パラ	14,9	9,2	5,9	5,6	1,9
マラニョン	4,1	4,1	2,9	2,0	0,6
全国計	31,7	18,5	11,7	19,4	16,5

収穫面積 1,000ha	32,2	21,2	12,7	16,1	10,4
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表 187

マルバ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
アマゾン	1,800	1,800	1,450	1,934	1,997
パラ	752	735	836	760	764
マラニョン	798	798	796	771	716
全国平均	984	873	917	1,205	1,596

出所：IBGE

3・3・6 ラミー

表 188

ラミー：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
パラナ	5,2	5,2	7,0	1,331
全国計	5,2	5,2	7,0	1,331

出所：IBGE

表 189

ラミー：1993年の生産状況(1993年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
パラナ	4,6	4,6	7,0	1,533
全国計	4,6	4,6	7,0	1,533

出所：IBGE

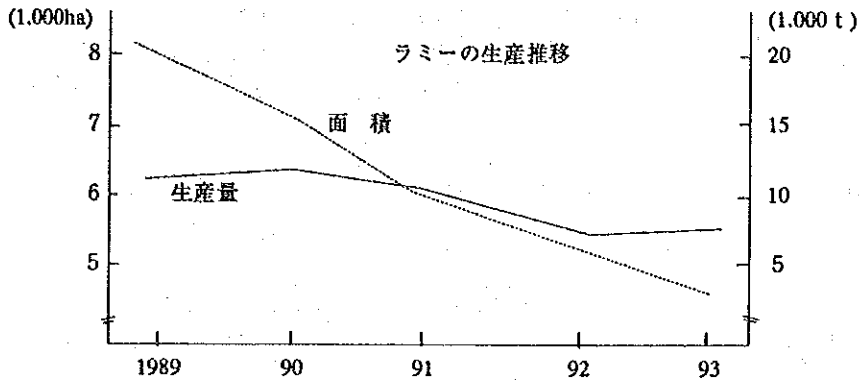


表 190

ラミー：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラナ	9,2	10,2	8,0	7,0	7,0

収穫面積 1,000ha	8,0	7,1	5,6	5,2	4,6
--------------	-----	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表 191

ラミー：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラナ	1,145	1,426	1,439	1,331	1,533

出所：IBGE

3・4 嗜好作物

3・4・1 コーヒー

イ) 生産

表 192

コーヒー：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
ミナス・ジェライス	953,1	950,4	1,106,5	1,164
エスピリット・サント	474,2	464,8	513,2	1,104
サン・パウロ	424,9	424,9	372,8	877
パラナ	279,2	279,2	206,8	741
ロンドニア	122,1	122,1	137,2	1,124
その他	258,0	257,1	250,6	-
全国計	2,511,5	2,498,5	2,587,1	1,035

出所：IBGE

表 193 コーヒー：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
ミナス・ジェライス	918,5	891,3	1,155,3	1,296
エスピリット・サント	458,3	458,3	448,0	978
サン・パウロ	379,7	379,7	440,1	1,159
パラナ	240,0	240,0	204,0	850
ロンドニア	121,2	121,2	175,2	1,260
その他	211,1	209,9	151,2	-
全国計	2,328,8	2,300,4	2,573,8	1,119

出所：IBGE

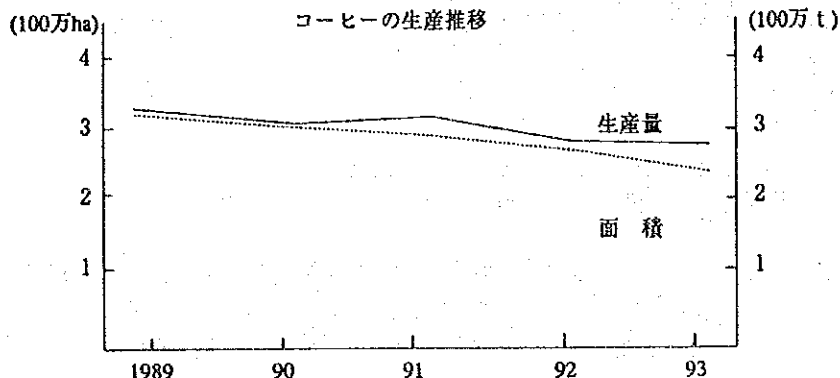


表 194 コーヒー：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
ミナス・ジェライス	1,200,5	1,040,8	1,192,4	1,106,5	1,155,3
エスピリット・サント	526,7	436,3	551,0	513,2	448,0
サン・パウロ	469,5	649,6	475,2	372,8	440,1
パラナ	456,0	313,4	403,8	206,8	204,0
その他	407,0	486,1	428,2	387,8	326,4
全国計	3,059,7	2,926,2	3,050,6	2,587,1	2,573,8

収穫面積 1,000ha	1989	1990	1991	1992	1993
	3,026,5	2,905,8	2,767,4	2,498,5	2,300,4

出所：IBGE

表 195 コーヒー：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
ミナス・ジェライス	1,244	1,226	1,245	1,164	1,296
エスピリット・サント	1,032	1,030	1,062	1,104	978
サン・パウロ	720	1,146	957	877	1,159
パラナ	903	735	1,053	741	850
全国計	1,011	1,007	1,102	1,035	1,119

出所：IBGE

ロ) 輸出

表 196

コーヒー(豆)の輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
1987	988	1,959	1.983
88	514	1,170	2.276
89	653	1,610	2.465
90	853	1,106	1.357
91	1,095	1,382	1.262
92	1,018	970	953
93	964	1,065	1.105

出所: CACEX, DECEX, SECEX.

表 197

インスタント・コーヒーの輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
1987	36	210	5.833
88	23	124	5.367
89	30	193	6.433
90	51	147	2.878
91	32	97	3.031
92	51	142	2.772
93	64	217	3.377

出所: CACEX, DECEX, SECEX.

表 198

コーヒーの輸出先市場(1993年)

輸出先国	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
米 国	206,2	199,3	966
イタリー	114,7	139,0	1.211
ド イ ツ	98,6	117,5	1.192
日 本	80,4	98,2	1.221
ベルギー	43,0	46,6	1.085
ギリシャ	37,4	41,6	1.112
フランス	35,4	41,1	1.162
スエーデン	35,1	38,9	1.106
アルゼンチン	32,1	37,3	1.161
スペイン	32,9	35,7	1.086
オランダ	31,1	34,9	1.125
フィンランド	20,3	25,0	1.233
カナダ	22,7	21,9	966
デンマーク	20,1	20,3	1.008
ノルウェー	18,6	20,3	1.086
英 国	14,4	15,1	1.049
レバノン	12,5	14,1	1.123
シリア	13,7	14,2	1.037
トルコ	10,1	11,6	1.151
そ の 他	84,6	92,3	1.091
計	963,9	1,064,9	1.105

出所: SECEX

表 199 インスタントコーヒーの輸出先市場 (1993年)

輸出先国	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均単位 us\$/t
ロシア	21.9	73.5	3.455
米国	15.5	39.9	2.528
英国	6.0	23.9	3.981
ドイツ	3.6	12.9	3.578
ルーマニア	2.7	12.5	4.652
日本	2.0	8.6	4.246
カナダ	2.3	6.3	2.684
アルゼンチン	0.9	3.9	4.560
オーストラリア	1.3	3.6	2.722
ハンガリー	0.8	2.8	3.456
オーストリア	0.9	2.6	2.714
フィンランド	0.5	2.7	5.237
その他	6.0	24.1	4.017
計	64.4	217.3	3.377

出所: SECEX

3・4・2 ココア

表 200 ココア: 1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バリア	608.5	608.5	263.5	433
パラ	51.4	51.4	29.4	573
ロンドニア	43.8	43.8	20.5	467
エスピリット・サント	21.1	21.1	12.3	584
マツト・グロッソ	3.7	3.7	1.6	450
その他	2.1	2.1	0.8	-
全国計	730.6	730.6	328.1	449

出所: IBGE

表 201 ココア: 1993年の生産状況 (1993年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バリア	609.3	609.3	264.2	434
パラ	55.4	55.4	33.1	597
ロンドニア	42.8	42.8	20.0	466
エスピリット・サント	21.0	21.0	12.3	589
マツト・グロッソ	3.7	3.7	2.2	594
その他	1.4	1.4	0.3	-
全国計	733.6	733.6	332.1	453

出所: IBGE

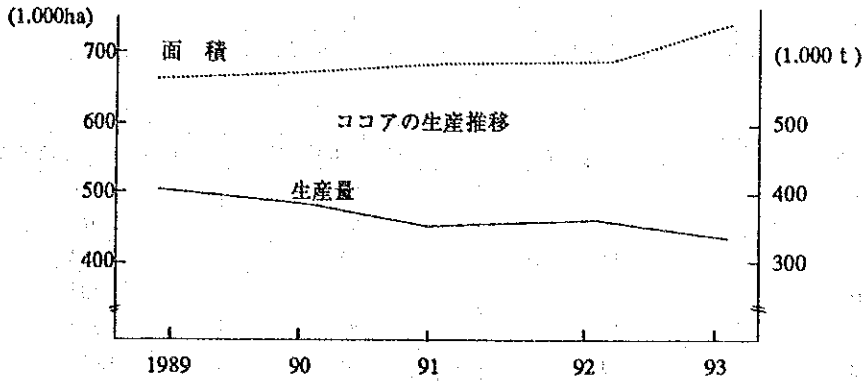


表 202 ココア：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	330,7	298,0	259,9	263,5	264,2
パラ	28,7	28,6	28,1	29,4	33,1
ロンドニア	24,7	20,3	22,8	20,5	20,0
エスピリット・サント	4,9	6,5	7,5	12,3	12,3
マット・グロッソ	0,1	1,7	2,1	1,6	2,2
その他	3,5	0,1	0,1	0,8	0,3
全国計	392,6	355,2	320,5	328,1	332,1

収穫面積 1,000ha	660,0	663,3	667,0	730,6	733,6
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表 203 ココア：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	551	543	477	433	434
パラ	710	592	544	573	597
ロンドニア	950	492	526	467	466
エスピリット・サント	296	308	354	584	589
マット・グロッソ	337	565	471	450	594
全国平均	595	536	480	449	453

出所：IBGE

ロ) 輸 出

表 204 ココア(豆)の輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
1987	143	266	1.860
88	134	215	1.602
89	107	134	1.252
90	118	128	1.082
91	84	88	1.048
92	83	84	1.032

93	95	98	1.022
----	----	----	-------

出所: CACEX, DECEX, SECEX, NBM, 1801.00.0100

表 205 ココア・リコールの輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
1987	42	99	2.357
88	46	95	2.071
89	43	73	1.698
90	27	42	1.531
91	25	38	1.513
92	23	34	1.457
93	26	39	1.492

出所: CACEX, DECEX, SECEX, NBM, 1803.10.0100

表 206 ココア・バターの輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
1987	44	184	4.279
88	47	171	3.638
89	54	100	2.941
90	47	136	2.875
91	44	127	2.910
92	46	119	2.570
93	40	100	2.509

出所: CACEX, DECEX, SECEX, NBM, 1804.00.0000

表 207 ココア及び副産物の輸出先市場

輸出先国	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単位 us\$/t
ココア(豆)			
米 国	50,3	48,5	906
オランダ	7,8	10,2	1.303
ロ シ ア	8,0	9,1	1.136
カ ナ ダ	6,8	6,2	917
エストニア	3,7	5,6	1.493
そ の 他	18,9	18,0	-
小 計	95,5	97,6	1.022
ココア・リコール			
米 国	13,2	19,5	1.481
アルゼンチン	8,2	11,7	1.439
チ リ ー	1,1	1,7	1.521
オーストラリア	0,8	1,4	1.668
そ の 他	3,1	5,1	-
小 計	26,4	39,4	1.492
ココア・バター			
米 国	25,4	62,1	2.443
アルゼンチン	4,5	11,5	2.556

オランダ	2,6	7,1	2.695
日 本	2,5	6,8	2.678
そ の 他	5,0	12,9	-
小 計	40,0	100,4	2.509
粉末ココア			
米 国	6,9	3,9	576
オランダ	2,8	2,0	705
メキシコ	3,3	1,7	509
そ の 他	5,9	3,8	-
小 計	18,9	11,3	599
チョコレート			
米 国	2,1	2,4	1.128
アルゼンチン	0,4	1,0	2.657
パラグアイ	0,3	1,0	3.507
そ の 他	0,8	2,5	-
小 計	3,6	6,9	1.887

出所：SECEX

3・4・3 ビメンタ

表 208

ビメンタ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反 収 Kg/ha
パ ラ ー	25,5	25,5	25,3	992
エスピリット・サント	2,5	2,3	4,7	2.034
バ イ ア	0,6	0,6	2,0	3.322
マラニョン	0,4	0,4	0,8	2.365
そ の 他	0,3	0,2	-	-
全国計	29,3	29,0	32,8	1.132

出所：IBGE

表 209

ビメンタ：1993年の生産状況

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反 収 Kg/ha
パ ラ ー	21,9	21,9	42,1	1.928
エスピリット・サント	2,2	2,2	4,5	2.017
バ イ ア	0,6	0,6	2,1	3.409
マラニョン	0,4	0,4	1,0	2.380
そ の 他	0,3	0,3	0,1	-
全国計	25,4	25,4	49,8	1.963

出所：IBGE

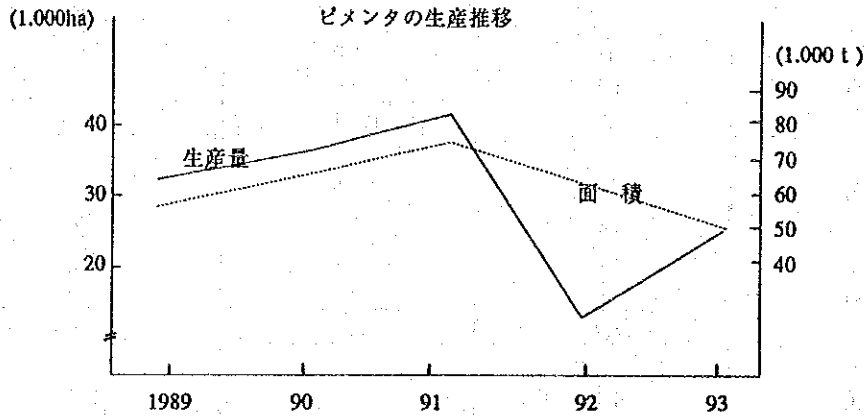


表 210 ビメンタ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラ	63.1	68.1	75.3	25.3	42.1
エスピリット・サント	3.3	4.9	5.5	4.7	4.5
バイア	0.4	0.5	1.7	2.0	2.1
マラニョン	0.5	1.1	1.1	0.8	1.0
その他	0.2	0.1	0.1		0.1
全国計	65.5	74.7	83.7	32.8	49.8

収穫面積 1,000ha	1989	1990	1991	1992	1993
	29.2	33.2	36.8	29.0	25.4

出所：IBGE

表 211 ビメンタ：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラ	2.581	2.257	2.267	992	1.928
エスピリット・サント	2.328	2.436	2.431	2.034	2.017
バイア	2.571	2.608	3.221	3.322	3.409
マラニョン	1.464	2.355	2.382	2.365	2.380
全国平均	2.241	2.249	2.277	1.132	1.963

出所：IBGE

3・4・4 グアラナ

表 212 グアラナ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バイア	2.8	2.8	1.7	601
アマソナス	2.1	2.1	0.3	121
マツト・グロッツ	0.6	0.6	0.1	296
パラ	0.2	0.2	0.1	440
その他	-	-	-	-
全国計	5.7	5.7	2.2	386

出所：IBGE

表 213

ガラナ：1993年の生産状況

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バイア	2,9	2,9	1,7	600
アマゾナス	3,4	3,4	0,3	100
マツト・グロツソ	0,5	0,5	0,2	437
パラ	0,1	0,1	0,0	356
その他	-	-	0,1	-
全国計	6,9	6,9	2,3	336

出所：IBGE

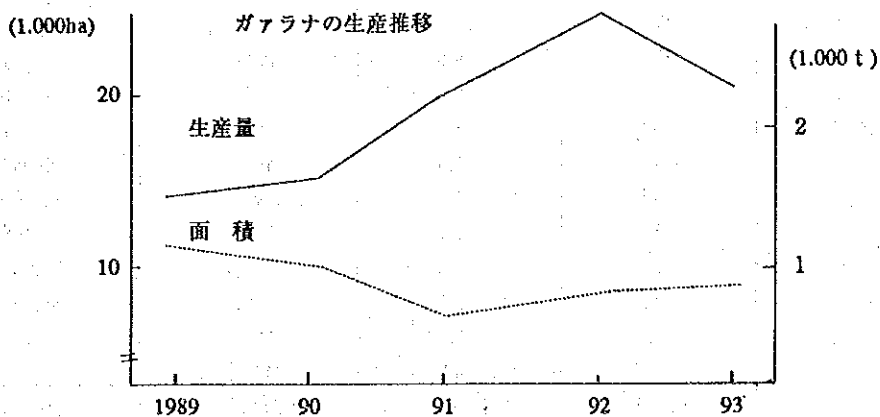


表 214

ガラナ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	0,6	0,8	1,2	1,7	1,7
アマゾナス	-	0,4	0,5	0,3	0,3
マツト・グロツソ	0,2	0,2	0,2	0,1	0,2
パラ	0,1	0,1	0,1	0,1	0,0
その他	0,5	-	-	-	0,1
全国計	1,4	1,5	2,0	2,2	2,3

収穫面積 1,000ha	11,2	9,7	6,1	5,7	6,9
--------------	------	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表 215

ガラナ：主要生産の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	478	518	614	601	600
アマゾナス	-	63	165	121	100
マツト・グロツソ	189	238	260	296	437
パラ	300	365	433	440	356
全国平均	122	155	333	386	336

出所：IBGE

3・5 果 実
 3・5・1 オレンジ
 イ) 生 産

表 216 オレンジ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 100万個	反 収 個/ha
サン・パウロ	783,7	783,7	82.885,0	105.765
セルジッペ	37,2	37,0	3.791,5	102.489
バ イ ア	36,9	36,9	2.832,0	76.690
ワ・ダラダ・ド・ヌル	25,6	25,6	2.054,6	80.285
ミナス・ジェライス	37,1	37,1	1.832,0	49.366
ワ・デ・ジッペ	28,6	28,6	1.458,6	50.997
バ ラ ー	7,0	6,9	900,0	130.886
サンカ・カタリーナ	3,6	3,6	506,4	142.611
バ ラ ナ	5,3	5,3	495,3	93.054
ゴ ヤ ス	4,8	4,8	396,7	83.400
マラニョン	2,5	2,4	227,3	93.408
エスピリット・サント	2,3	2,3	167,9	73.036
ベルナンブコ	2,5	2,5	138,2	56.238
ピアウイ	1,6	1,5	130,9	85.197
そ の 他	8,3	8,3	469,3	-
全国計	987,0	986,5	98.285,7	99.629

出所：IBGE

表 217 オレンジ：1993年の生産状況

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 100万個	反 収 個/ha
サン・パウロ	531,2	531,2	68.775,0	129.482
セルジッペ	38,5	38,5	3.933,0	102.200
バ イ ア	39,2	39,2	2.663,7	67.988
ミナス・ジェライス	38,1	38,1	2.535,3	66.472
ワ・ダラダ・ド・ヌル	27,9	27,9	2.301,3	82.496
ワ・デ・ジッペ	29,0	28,2	1.421,4	50.464
バ ラ ー	12,0	12,0	1.080,8	90.349
サンカ・カタリーナ	4,2	4,2	614,9	147.809
バ ラ ナ	5,5	5,5	550,0	100.000
ゴ ヤ ス	5,6	5,6	533,5	95.117
マラニョン	2,4	2,4	226,9	94.036
ピアウイ	1,2	1,2	145,5	123.698
パライーバ	1,6	1,6	112,4	68.223
ベルナンブコ	2,3	2,3	110,8	48.968
そ の 他	8,1	7,9	485,7	-
全国計	746,8	745,8	85.490,2	114.623

出所：IBGE

93年7月より開始されたオレンジの生産は745千ヘクタールの面積で行われ、85,490百万個の生産をあげたものと推定されている。この生産規模は、面積、生産量ともに過去5ヶ年間の最低を記録しており、農産物の中では数少ない成長作物として生産の増加を続けてきたこれまでのリズムを中断し、始めて生産の大巾な下降を招いた。前年と比較すると面積において(-)24,4%という縮少振りであったが、1ヘクタール当りの反収が前年の99,8千個より93年は114,6千個へと14,8%の向上をみたため生産量を前年比(-)8,7%に止めることを得た。

国内の生産地帯では全国生産の80%を占め、その動向が全国生産を左右するサンパウロ州において前年比(-)17%の大きな落ち込みがあり、全国生産の減少を決定的なものとしている。その他の地域はセルジッペ、バイア、ミナス・ジェライス州など主要生産地で前年を上回る生産が記録されているが、いづれも生産規模が小さいため全体への影響は僅少であった。国内の生産地帯の中では、セルジッペ州がサンパウロ州に次ぐ国内第2の生産地かつ東北地方最大の生産州であったが、93年には収穫量において、2位の位置を保ったものの面積ではバイヤ州に劣っており、バイアの進出が観察される。東北地方で最も面積の少ないセルジッペ州に代って東北地方最大の面積を持つバイア州の生産拡大は、今後の国内オレンジ栽培地図を変える兆しとして注目されている。なお、93年にサンパウロ州で記録された129,5千個/1haの平均反収はブラジルのオレンジ栽培における最高記録となっている。

このようにオレンジ生産が大巾に下降したのは、92年の10月以降暴落した濃縮オレンジ・ジュースのニューヨーク相場により、これを基準として計算されるオレンジ1箱当りの価格が過去16年間最低のUS\$0,30に落ちたため、オレンジ生産者の収益を極度に落したほか、前途金(US\$1,50)を受取っていたジュース工場に対して多額の負債を生じる結果となり、栽培管理を低下させた農家が多くあったこと、93年下半期の収穫期間中にペラニコ(雨期中の長期乾燥)の被害や病害(COLLETOTRICHUM菌)が発生したことなどが理由となっている。

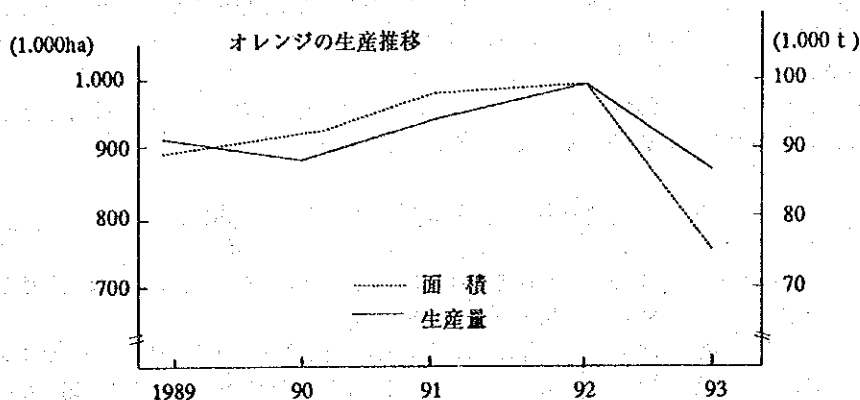


表 218 オレンジ：過去5ヶ年間の生産推移 100万個

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サン・パウロ	71,935,0	72,325,00	79,022,50	82,885,00	68,775,00
セルジッペ	3,529,3	3,674,8	4,441,1	3,791,5	3,933,0
バイア	1,940,4	2,116,0	2,424,7	2,832,0	2,663,7
ミナス・ジェライス	2,126,2	2,020,1	2,043,1	1,832,0	2,535,3
パラナ	365,5	2,056,3	1,902,0	2,054,6	2,301,3
ゴイアス	2,521,2	2,449,7	1,497,4	1,458,6	1,421,4
その他	6,598,6	2,889,9	3,181,5	3,432,0	3,860,5
全国計	89,016,2	87,531,8	94,512,3	98,285,7	85,490,2

収穫面積 1,000ha	882,6	910,5	980,8	986,5	745,8
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表 219

オレンジ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サン・パウロ	105.361	100.055	100.114	105.765	129.482
セルジッペ	108.528	106.905	124.848	102.789	102.200
パイア	81.924	73.751	72.717	76.690	67.988
ミナス・ジェライス	66.944	60.425	60.654	49.366	66.472
リオ・グランデ・ド・ノル	85.290	81.199	76.296	80.285	82.496
リオ・デ・ジャネイロ	71.740	71.657	51.694	50.997	50.464
全国平均	100.853	96.136	96.366	99.629	114.623

出所：IBGE

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

92年末に暴落した濃縮オレンジ・ジュースのニューヨーク市場価格は、93年上半期も継続し、過去16年間最低といわれた低価格が支配した。この間93年3月にはポンド当り72セントの最低価格が記録されている。このような低価格も夏期に入ると米国内で異常な高温のため、ジュース需要が例年以上に高まり、それが価格に反映して6月には124セントを記録、低価格の時期を脱却した。しかしこの需要の急増も一時的なもので、下半期に入ると再び下降するが、9月には次期農年のフロリダ州とブラジルの減産予想から思惑買いが増加し、93年中最高の130セントに達した。

10月には、恒例の米国農務局(USDA)によるフロリダ州の次期収穫予想が発表されたが、その予想量(172百万箱)は業界が期待していた量を上回るものであったこと、年末に降雪のリスクが僅少との気象予報により、価格は再び100セントを割った。

このような情勢の中で、ブラジルの濃縮オレンジ・ジュース輸出は、史上最大の100トン以上に達したものの低価格のため、その輸出収入は過去5ヶ年間最低の826百万ドルに止まった。

表 220

ニューヨーク取引市場の濃縮オレンジ・ジュース相場

年 月	ポンド当り (セント)	備 考	
1993年 3月	月始め価格	72,75	月間を通じて低価格が続いたが月末にいたって低価格ながら価格の反発があった。 月始めにUSDAが行った次期収穫予想の中で、ブラジルの生産量を27%増としたことが価格を押さえる要因となっている。又月末にかけて価格の上昇があったのは、消費価格がかつてない低価格に落ちたため、米国の需要が増加したためであった。 このような低価格を反映してブラジルにおける3月始めの輸出登録価格はトン当り245ドルに落ちた。米国フロリダ州では強風と寒波があり、この異常気象が価格に影響した。 価格水準は依然として過去16年間最低のレベルが続いている。
	月末 価格	89,00	
	月間最高価格	89,45	
	月間最低価格	72,75	
4月	月始め価格	90,80	米国のオレンジ・ジュース需要の増加から100セント近くまで上昇した価格も、ブラジルの増産予想の前に押えられ、月末価格を低下させた。 4月には日本の豊橋市にオレンジ・ジュース・ターミナルが
	月末価格	89,65	
	月間最高価格	98,65	
	月間最低価格	89,65	

5月	月始め価格	89,40
	月末価格	118,75
	月間最高価格	118,75
	月間最低価格	89,40

6月	月始め価格	113,70
	月末価格	124,00
	月間最高価格	124,25
	月間最低価格	107,75

7月	月始め価格	123,90
	月末価格	120,70
	月間最高価格	126,55
	月間最低価格	116,35

8月	月始め価格	124,20
	月末価格	125,56
	月間最高価格	126,95
	月間最低価格	117,05

オープンしており、ブラジルの対日輸出拠点となる。このターミナルは日本の販売会社が共同出資（300万ドル）して建設したもので、各1,000リットルの能力を持つタンク20基が備えられている。ターミナルはブラジルの二大ジュース工場CITROSUCO社とCUTRAL社が施設の貸与を受けて運営することとなっている。上記両グループは日本市場におけるTVの宣伝を始め、マーケティングに300万ドルを投下しており、対日販売を積極的にすすめている。

5月には前年の10月以降下降した価格がようやく反発をみせており、価格は5ヶ月振りに100セント台に戻った。オレンジ業界では中期的にこの価格レベルが継続しようとの見通しを発表しており、少なくとも10月に行われる米国の次期収穫予想発表まではこの価格レベルが続くとの見方が一般的であった。

月末の1週間はとくに上昇傾向が強まり30%の上昇が記録されている。

米国におけるインフレ指数の上昇と、これを反映した金利の上昇からコモディティへの投資の関心が薄れたのを原因として前月末に120セント近くまで来ていた価格は再び110セント以下に落ちたが、月末には米国内の需要増加から120セント台を越え月末の価格を124,00セントで終わっている。

米国市場では、オレンジ・ジュース価格の大幅な下降から2リットル入りジュース価格（\$1,-）がコカ・コーラの価格（\$1,19）よりも安くなるという初めての現象があった。この低価格と合わせ異常の暑さに見舞われたためジュースの需要を高めた。

この価格上昇の前にブラジルの輸出基準価格（注ニューヨーク市場の20日間の価格を基準として政府が発表する輸出最低価格）はUS\$820,-/tとなった。

異常の暑さのため急増した米国のオレンジ・ジュース需要があくまで1時的なもので、やがて下火となる見通しの前に価格はやや下降した。しかし相場を大きく変動させる理由はほかになく、120セントを中心とし上下した。

7月にUSDAが発表した73/74農年の米国全体の生産量は257,7百万箱で前月の発表とほとんど変化はなかったが、前年の209,5百万箱と比較すると23%増となっているため、価格の上昇を押える大きな要因となった。

8月も7月と同様に117~127セントの範囲で上下の変動を繰り返した。価格の上昇は、フロリダ州かんきつ工業連盟が国内需要が再び増加しているとの発表を行ったことによっていえる。業界筋によるとフロリダ州のオレンジが生育期にあるこの時期には思惑売買が増え、上下の変動を繰り返すのが常であるとのことに、10月のUSDA発表を待つまで価格動向は安定しない。

8月には暴風雨がフロリダ州を襲ったが、オレンジ園には大

9月	月始め価格	125,35	<p>きな被害はなく、ニューヨーク市場相場に影響していない。</p> <p>9月のニューヨーク市場は10月に発表されるUSDAの次期収穫予想を1月後に控え取引量は少なかったが、市場関係者の中で次期フロリダ州の生産が低下しようとの予想が一般的となっていたことから、月末には久し振りに130セント台に入った。月末の高値にはブラジルの減産予想も影響した。</p> <p>USDAの発表を前に市場関係者の中では、フロリダ州の収穫量を165～175百万箱とする予想が一般的で、前年の生産量186,5百万箱より9%近くの減産が見込まれ、これに伴う価格の上昇予想が支配し、思感買いを促した。減産予想の中には冬期に寒波があり開花期のオレンジ樹に被害を与えようとの予測も含まれていた。</p>
	月末価格	130,50	
	月間最高価格	132,40	
	月間最低価格	118,85	
10月	月始め価格	131,30	<p>濃縮オレンジ・ジュース価格の方向を決定する米国農務局(USDA)の次期収穫予想は10月12日に発表されたが、同予想値が業界が想定していた線を下廻るものであったため、9月末より上昇し始めていた価格はUSDA発表の翌日より反転し、月末に向って下降した。USDAによるフロリダ州の次期収穫予想量は172百万箱となっており、業界で予想されていた165～175百万箱の範囲内にあったものの業界が期待していた上限に近いものであったため、価格の上昇を予想して買込んでいた投資家が先行き不安から大量に売り出し値を崩したものである。</p> <p>USDAの次期収穫予想はほか、冬期が近づいて米国内のオレンジ・ジュース消費が減少したことも価格下降の原因の1つとされている。</p> <p>ただし業界専門家の間では米国とブラジルのオレンジ生産が減少している情勢下でジュース価格が下落する根拠はなく、ニューヨーク相場下落は一時的なものであるとする意見が多くあった。</p>
	月末価格	109,15	
	月間最高価格	132,50	
	月間最低価格	109,15	
11月	月始め価格	107,15	<p>冬期に入ったがフロリダ州の気温は2～4°Cの間にあり、オレンジ園に影響する0°C以下に下降することがなかったため、オレンジ成育は順調にすすんだ。月末には今年の降霜のリスクが遠のいたとの気象予想の前に、価格は再び100セントを割っている。</p>
	月末価格	99,50	
	月間最高価格	113,20	
12月	月間最低価格	99,50	<p>クリスマス前後に発生率の多い降霜もなく、寒波の襲来にも被害を受けなかったことから、ニューヨークの濃縮オレンジ・ジュース価格は横這いを続け、低価格のまま93年を終っている。</p>
	月始め価格	103,65	
	月末価格	107,25	
	月間最高価格	114,40	
	月間最低価格	103,65	

表 2 2 1

濃縮オレンジ・ジュアの輸出推移

年 度	重 量	金 額		平 均 単 位	輸出総額に占め た比率 (%)
	1,000 t	100万ドル	FOB	US \$ / t	
1988	663,6	1,143,3		1,724	4,81
1989	723,9	1,019,0		1,407	2,96
1990	953,9	1,468,4		1,539	4,67
1991	913,5	899,9		985	2,86
1992	967,2	1,052,8		1,088	2,91
1993	1,165,2	826,2		709	2,13

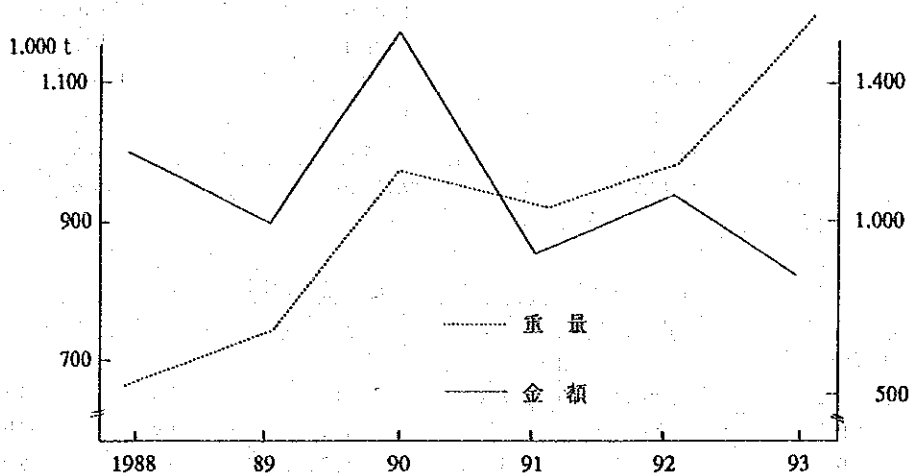


表 2 2 2

濃縮オレンジ・ジュアの輸出先市場 (1993)

輸出先国	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均単価 US \$ / t
オランダ	454,0	318,3	701
米 国	330,1	262,8	796
ベルギー	196,3	121,6	619
日 本	63,0	39,1	621
韓 国	34,0	25,0	736
英 国	25,1	17,4	692
カナダ	10,1	7,0	693
ドイツ	7,8	5,3	668
フィンランド	7,3	5,0	685
プエルトリコ	4,9	4,1	835
ニュージーランド	5,5	4,0	725
オーストラリア	6,6	3,5	534
フランス	5,5	2,5	464
アイルランド	1,6	1,2	772
シンガポール	1,6	1,2	727
南アフリカ連邦	1,1	1,1	959
そ の 他	10,7	7,1	663
計	1,165,2	826,2	709

出所: SECEX

表 223 濃縮オレンジ・ジュースの対日輸出状況 (1993年)

月 例	重 量 t	金額 FOB 1,000ドル	平均単価 US\$/t
1	2,889.0	1,679.0	581
2	4,300.7	2,295.9	534
3	20,560.3	6,523.7	317
4	4,721.1	2,502.8	531
5	3,485.0	2,049.7	588
6	4,472.9	3,397.4	759
7	237.5	174.8	736
8	2,737.9	2,585.0	944
9	5,784.2	5,483.0	947
10	4,354.0	4,440.6	1,019
11	5,571.9	4,915.4	882
12	3,903.1	3,071.6	786
計	63,017.6	39,118.9	620

出所：SECEX

表 224 濃縮オレンジ・ジュースの主要輸出先国別実績

年度別	オランダ	米 国	ベルギー	日 本	韓 国
重 量 (1,000 t)					
1990	306.2	401.4	114.8	20.6	15.4
1991	331.9	283.5	113.7	24.9	39.9
1992	350.5	331.6	127.8	45.6	36.0
1993	454.0	331.1	196.3	63.0	34.0
金 額 (100万ドル)					
1990	747.5	617.3	168.1	35.6	24.2
1991	322.5	282.5	107.4	25.7	41.8
1992	373.9	357.8	144.8	51.4	41.3
1993	318.3	262.8	121.6	39.1	25.0

出所：SECEX

表 225 濃縮オレンジ・ジュース 月別輸出状況 (1993年)

月 例	重 量 1,000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
1	145.1	84.0	579
2	71.5	30.6	428
3	89.7	30.5	340
4	84.7	36.7	434
5	107.7	54.7	508
6	67.1	41.9	624
上半期	565.9	278.5	492
7	43.0	37.9	883
8	129.8	119.2	918
9	117.6	112.2	954
10	119.6	118.1	987
11	85.1	77.5	910

12	104,1	82,9	796
下半期	599,3	547,7	914
合計	1.165,2	826,2	709

出所：SECEX

ハ) 生産コスト

表 226

オレンジの生産コスト予想 (93/94) A US\$

内 訳	1 haあたり	1本あたり	1箱(40,8Kg)あたり	構成比率 (%)
直接コスト				
労務費	54,89	0,21	0,08	6,63
肥料・石灰	136,92	0,53	0,20	16,55
農薬	306,66	1,18	0,45	37,06
機械維持費	126,87	0,49	0,18	15,33
小計	625,35	2,41	0,91	75,58
間接コスト				
機械償却費	55,52	0,21	0,08	6,71
ワック園償却費	90,88	0,35	0,13	10,98
社会保障費	18,11	0,07	0,03	2,19
金融費用	37,52	0,14	0,05	4,53
小計	202,03	0,77	0,30	24,42
合計	827,38	3,18	1,21	100,00

出所：IEA サンパウロ州カンピーナス地区

1ヘクタール当たり 260本植え、収穫量 686箱

表 227

オレンジの生産コスト予想 (93/94) B US\$

内 訳	1 haあたり	1本あたり	1箱あたり	構成比率 (%)
直接コスト				
労務費	44,51	0,17	0,66	4,23
肥料・石灰	376,28	1,45	0,54	35,74
農薬	262,59	1,01	0,38	24,94
機械維持費	147,68	0,57	0,21	14,03
小計	831,05	3,20	1,20	78,94
間接コスト				
機械償却費	66,31	0,26	0,10	6,30
ワック園償却費	90,88	0,35	0,13	8,63
社会保障費	14,69	0,06	0,02	1,40
金融費用	49,86	0,19	0,07	4,74
小計	221,74	0,85	0,32	21,06
合計	1.052,79	4,05	1,52	100,00

出所：IEA サンパウロ州 サン・ジョゼ・ド・リオ・プレット地区 1 haあたり 260本植、692箱収穫

注) 1) 労務費及び機械維持費については93年5月15日現在、生産資材については93年5月23日現在の価格が用いられた。

2) オレンジ園の償却費は有効年数を20年とし、93/94農年の価格を US\$/1,10/箱として計算された。

3) 社会保障費は労務費の3%とした。

4) 金融費用は年利12%として計算された。

3・5・2 バナナ

イ) 生産

表 228 バナナ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バイア	82,2	82,2	87,1	1,059
サン・パウロ	42,9	42,9	58,6	1,368
サンタ・カタリーナ	31,5	31,1	44,4	1,431
ベルナンブコ	32,4	32,4	40,7	1,258
バラ	27,2	27,2	38,0	1,396
ミナス・ジェライス	37,8	36,1	35,0	970
セアラ	41,2	41,1	33,5	815
リオ・デ・ジャネイロ	32,2	32,2	31,6	983
パライーバ	22,1	22,1	30,1	1,360
その他	169,6	168,3	162,5	-
全国計	519,1	515,6	561,5	1,089

出所：IBGE

表 229 バナナ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
バイア	82,7	82,7	88,4	1,069
サン・パウロ	42,5	42,5	60,6	1,425
サンタ・カタリーナ	32,1	31,9	51,4	1,611
バラ	30,3	30,3	44,4	1,462
エスピリット・サント	37,7	36,9	38,2	1,035
ベルナンブコ	34,8	33,7	37,5	1,111
リオ・デ・ジャネイロ	32,7	32,7	31,4	962
パライーバ	22,4	22,4	30,9	1,379
ロンドニア	34,1	34,1	28,8	844
その他	184,9	182,3	164,7	-
全国計	534,2	529,5	576,3	1,089

出所：IBGE

国内全土にわたって自然条件がバナナの栽培に適しているのが全国的に普及しており、特定地域への集中度は少ない。国内最大の生産地帯はバイア州にあり、同州を含む東北地方が全国生産の37,1%を占め、バイア州に次ぐ生産地帯はサンパウロ州を含む南東地方で27,3%のシェアで続いている。バイア州、サンパウロ州とも気温が高く交通の便がいい海岸地帯を生産地としている。この中、サンパウロ州南部海岸地帯のリベイラ地方は国内で唯一の輸出用バナナを生産地帯である。リベイラ地方ではレジストロ、ジュキア、セッテバルバ、イグアペ、ミラカツ地方を主要生産地帯としている。

過去5ヶ年間の生産推移は面積、生産量共にわずかながら増加しているが、この間、生産性の向上はなく、93年の平均反収は89年に劣る状況にある。

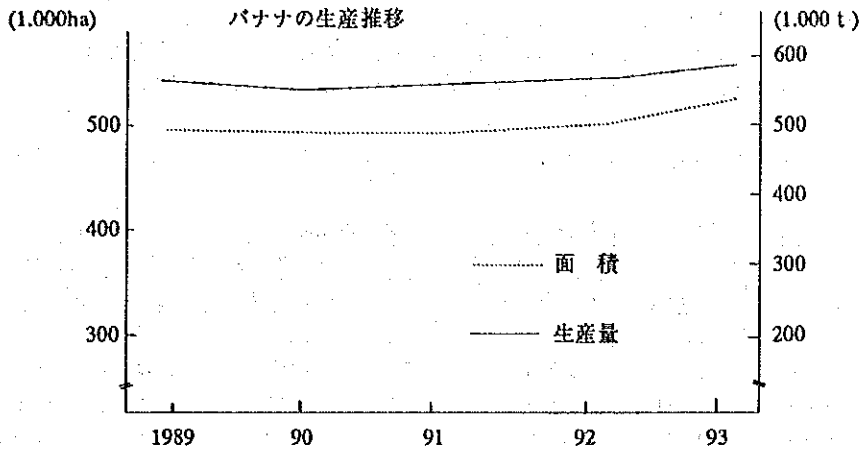


表 230 バナナ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パイア	69,9	64,8	79,5	87,1	88,4
サン・パウロ	90,1	83,7	73,9	58,6	60,6
サンタ・カタリーナ	40,6	42,5	36,7	44,4	51,4
パラ	43,6	42,9	38,0	38,0	44,4
ミナス・ジェライス	36,3	35,7	35,0	35,0	38,2
その他	270,0	280,6	289,5	298,4	293,3
全国計	550,5	550,2	552,6	561,5	576,3

収穫面積 1,000ha	483,2	487,4	490,3	515,6	529,5
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表 231 バナナ：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パイア	1.553	1.500	1.042	1.059	1.069
サン・パウロ	1.209	1.089	1.368	1.368	1.425
サンタ・カタリーナ	1.482	1.453	1.201	1.431	1.611
パラ	1.598	1.593	1.465	1.396	1.462
ミナス・ジェライス	1.022	1.015	1.010	970	1.035
全国平均	1.139	1.129	1.127	1.089	1.089

出所：IBGE

国内で栽培されている品種はGROS MICHEL種とCAVENDISH種に大別される。この中GROS MICHEL種は大型で外観がよく輸出用として栽培されてきたが、反収が低いことと、バナナ栽培でもっともおそれられているバナナ病に罹りやすい欠点を持つため、最近はこの病気に抵抗性があるCAVENDISH種の栽培が大半を占めるようになった。サンパウロ州で生産されている代表的品種のナニカヤニコンもこのグループに属する品種である。又、ミナス・ジェライス州ではナニカのほか小型ながら風味にすぐれ、それだけに価格の高いブラクが栽培されており、リオ・デ・ジャネイロ州では内陸地方がナニカ、海岸地方がブラクと栽培地帯が分けられている。パイア州を主体とする東北地方ではブラクの栽培が多く、ナニカは少ない。又、中西部地方ではマッサン種の栽培が多いが、自然条件に利約があるためその普及度は低い。以上いづ

れの品種も海拔1,000mを栽培地の限度としている。

多くの品種に分かれるバナナは、一房あたりの重量がそれぞれ異なるため、ブラジルの統計では重量とせず房数であらわしており、重量換算の基準としては、サンパウロ州では1房を1.6～1.7Kg、東北地方では1.2Kgとしている。

FAOの統計によると世界の生産に占めるブラジルのシェアは1991年において11.8%である。

表 232 バナナ：世界生産に占めるブラジルの位置 1,000 t

年 度	ブラジル		エクアドル		コスタ・リカ		世界生産量
	生産量	シェア (%)	生産量	(%)	生産量	(%)	
1987	5,131	11,45	2,387	5,33	1,143	2,55	44,818
1988	5,118	11,34	2,576	5,71	1,162	2,57	45,135
1989	5,505	12,24	2,576	5,73	1,512	3,36	44,970
1990	5,502	11,73	3,055	6,51	1,740	3,71	46,923
1991	5,630	11,81	2,954	6,20	1,550	3,25	47,660

出所：FAO

ロ) 市場

ブラジルは世界最大のバナナ生産国であるが、国内消費量が大いいため輸出余力は小さく、生産量の98%以上は国内消費に廻される。海外市場に廻される約1.5～2.0%の生産地帯はサンパウロ州に限定され、海外市場も又隣国のアルゼンチンとウルグアイの二国のみで世界の消費市場であるヨーロッパや米国への輸出は行われていない。従ってアルゼンチン、ウルグアイ両国の経済情勢とこの市場に供給する他の生産国の動向によって今後の輸出規模が決定されていく。

アルゼンチン及びウルグアイに対する輸出量はほぼ同等で92年の場合、ブラジル輸出の46.9%がアルゼンチン、43.1%がウルグアイ向けであった。この両国の輸入規模は91年においてアルゼンチンが70千トン、ウルグアイが半分の35千トンであり、過去にはアルゼンチンが3～4倍の輸入を行ったこともある。このように輸入能力の大きいアルゼンチンへのブラジルの輸出シェアがウルグアイと同等ということは、アルゼンチン市場に対する他の供給国としてのエクアドルの輸出が増加していることを意味している。

アルゼンチンとウルグアイの輸入状況を見ると70年代中期に100%をブラジルが供給していたものが、80年代の始めには30%以下に落ち、80年代中期に復活、90年が51%、91年が84%という状況にある。この両国、とりわけアルゼンチン市場におけるブラジルの競合国となっているエクアドルは、ブラジルに次ぐ生産国かつ世界最大の輸出国で、コスタ・リカと共に米国及びヨーロッパ市場への重要な供給国でもある。この両国にとってバナナはブラジルのコーヒーや大豆と同様の重要商品であったため、政府の支援態勢も強化され、生産及び輸出のためのインフラの整備、ほか強力な支援策が行われているといわれる。米国資本(ユナイテッド・フルーツ)も進出しているところから、生産技術も高く品質がすぐれるため、アルゼンチン市場ではエクアドル産が中流以上、ブラジル産が低階級向けという格差もすでにつけられている状況にある。

この両国の動向で懸念されるのは、93年7月1日をもってECがバナナの輸入に対し、いわゆる“ドル圏”よりの輸入を年間200万トンに制限すると同時に、アフリカ、アジア及びカリブ海の旧植民地諸国に特惠待遇を与えたことである。この措置により旧植民地諸国以外のバナナ輸出国は輸入枠内で於いてすらトン当たり100ECUS(約US\$117,-)を課税され、割当枠外になると850ECUS(約US\$1,000)に引き上げられることとなり、いちじるしく競争力を弱めることとなる。

ブラジル自体はヨーロッパへ輸出していないのでこの措置の直接の影響はないが、その影響をまともに受けるエクアドルやコスタ・リカがアルゼンチン、ウルグアイ等ヨーロッパ以外の市場への販売を強化することが考えられる。

ちなみにECの輸入は1991年のデータによるとラテンアメリカを最大の供給国としており、エクアドル(600,8千トン)、コスタ・リカ(569,4千トン)、コロンビア(512,3千トン)、パナマ(48

4, 6千トン)、ホンジュラス(138, 4千トン)、ニカラグア(65, 2千トン)、グアテマラ(13, 2千トン)計2, 383, 9千トンを輸入した。又、世界のバナナ貿易に占めた比率は、輸出面ではエクアドールが23, 38%、コスタ・リカ15, 27%、輸入面では、ECが35, 02%を占めている。(以上1990年のデータ)。ブラジルの世界輸出に占めた比率は、1970年に3, 52%を占めていたものが89年には1, 0%、90年には0, 56%に減少している。

このような問題がブラジルにとって不利な情勢を予想させる反面、近年エクアドールに発生したコレラの問題は、アルゼンチンやウルグアイをして、エクアドール産品への警戒心を強めさせており、ブラジル産品への需要を高める傾向も観察される。

表 233 バナナ：輸出推移 関税番号0803.00.0100

年 度	重 量 t	金 額 US\$1,000	平均単価 US\$/t
1988	76,859.9	11,764.4	153.06
1989	83,525.6	12,182.9	145.86
1990	53,221.4	8,741.8	164.25
1991	91,141.5	18,331.5	201.13
1992	91,974.1	16,689.3	181.45

表 234 バナナ：輸出先市場(1992年)

輸出先国	重 量 t	金 額 US\$1,000	平均単価 US\$/t
アルゼンチン	45,856.7	9,763.7	212.92
ウルグアイ	46,117.4	6,925.7	150.17
計	91,974.1	16,689.3	181.45

出所：SECEX

3・5・3 バインアップル

イ) 生産

表 235 バインアップル：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 100万個	反 収 個/ha
パライーバ	10.4	10.4	301.1	28.897
ミナス・ジェライス	10.2	10.1	210.9	20.881
バイア	2.9	2.9	67.5	23.297
ベルナンブコ	2.2	2.2	39.5	18.069
エスピリット・サント	1.8	1.8	36.7	20.619
パラナグア	1.4	1.4	28.9	20.690
サン・パウロ	1.0	1.0	25.8	26.889
ゴヤス	1.1	1.1	18.9	17.983
その他	4.7	4.6	79.9	
全国計	35.7	35.5	809.2	22.780

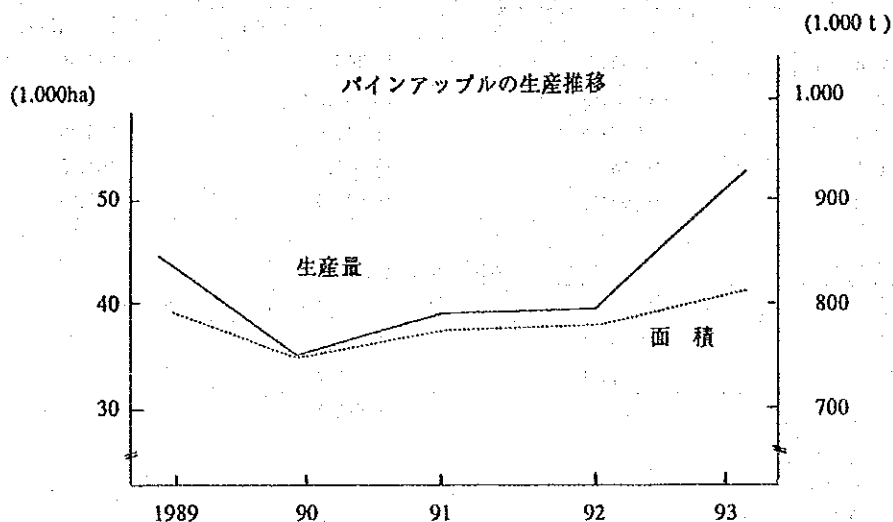
出所：IBGE

表 236 バインアップル：1993年の生産状況(1993年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 100万個	反 収 Kg/ha
パライーバ	10.3	10.3	310.2	30.229
ミナス・ジェライス	11.3	11.3	237.2	21.023

パイア	3,6	3,6	76,2	21.393
エスピリット・サント	3,3	3,3	67,1	20.459
パラ	2,0	2,0	37,5	18.821
バライバ	1,4	1,4	29,5	20.369
ペルナンブコ	1,6	1,5	25,6	17.423
サンパウロ	0,9	0,9	25,0	28.101
その他	5,6	5,5	106,7	-
全国計	40,0	39,8	915,0	23.004

出所：IBGE



パイナップルの生産は、バライバ及びパイア州を中心とする東北地方と、ミナス・ジェライス及びサンパウロ州に代表される南東地方に二分されている。前者は在来種を主体とし、後者は在来種のほか、ハワイを原産となるスムスカエン種（とげなしパイナップル）の生産が普及している。

統計にみられるとおり、栽培面積は横這いの状態で93年の面積は89年とほとんど同規模であるが、反収がやや増加してきたため、生産量はわずかながら拡大されている。このような生産の停滞は借地用の土地の入手が困難となってきたこと、土壌の疲弊による生産力の低下、病害（FUSARIOSE）の発生、生産者価格の低下等にもとづくものである。

表 237

パイナップル：主要生産地の反収

個/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バライバ	29.012	30.373	28.768	28.897	30.229
ミナス・ジェライス	18.792	18.690	19.772	20.881	21.023
パイア	16.669	19.949	19.699	23.297	21.393
エスピリット・サント	23.431	22.799	22.645	20.619	20.459
パラ	20.382	19.300	20.000	19.473	18.821
全国平均	22.072	22.561	22.684	22.780	23.004

出所：IBGE

表 238

パイナップル：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラíba	332,5	284,2	307,0	301,1	310,2
ミナス・ジェライス	225,0	186,0	196,3	210,9	237,2
パイア	39,5	45,6	50,1	67,5	76,2
エスピリット・サント	35,5	30,2	40,9	36,7	67,1
パラナ	20,3	15,8	20,0	18,7	37,5
その他	186,1	162,2	164,5	174,3	186,8
全国計	838,8	724,0	778,8	809,2	915,0

収穫面積 1,000ha	36,0	32,0	34,3	35,5	39,8
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

パイナップルの輸出はアルゼンチンを主要市場として行われており、わずかながら増加傾向にある。しかし輸出規模は小さく、年間5百万ドル程度の規模に止まっている。

表 239

パイナップル：輸出推移

年 度	重 量 t	金 額 US\$ 1,000	平均単価 US\$/t
1988	10.806,3	3.201,8	296
1989	12.418,4	3.679,2	296
1990	7.910,1	3.113,4	394
1991	15.194,0	5.057,4	332
1992	16.311,5	5.278,5	324

表 240

パイナップル：輸出先市場（1992年）

輸出先国	重 量 t	金 額 US\$ 1,000	平均単価 US\$/t
アルゼンチン	15.014,0	4.876,6	325
ウルグアイ	831,5	261,0	314
ベルギー	286,7	71,7	250
英 国	122,6	34,0	277
その他	56,7	35,2	-
計	16.311,5	5.278,5	324

出所

3・5・4 ぶどう

イ) 生産

表 241

ぶどう：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反 収 Kg/ha
ピョラゴダ・ド・スル	39,6	39,6	505,5	12.753
サンパウロ	9,3	9,3	123,7	13.316
サンタ・カタリーナ	4,0	4,0	56,6	14.059
パイア	1,6	1,6	45,6	29.224
パラナ	3,1	3,1	41,2	13.167
その他	2,1	2,1	26,2	-

全国計	59,7	59,7	798,8	13.388
-----	------	------	-------	--------

出所：IBGE

表 242

ぶどう：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反 収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・メル	38,9	38,9	489,5	12.575
サン・パウロ	9,4	9,4	119,6	12.714
バイア	2,4	2,4	69,5	29.349
サンタ・カタリーナ	4,1	4,1	60,7	14.774
パラナ	3,0	3,0	42,6	13.967
そ の 他	2,8	2,8	32,8	-
全国計	60,6	60,6	814,7	13.450

出所：IBGE

IBGEのデータによるとぶどうの栽培面積は、過去5ヶ年間横這いの状態が続いており、93年の収穫面積（60,6千ha）は、89年の面積（59,2千ha）とほとんど変わっていない。生産量は91年に天候不順のため大きな落ち込みがあったが、92年には回復しており、93年の生産量（814,7千トン）は89年（716,6千トン）に比し、13,6%の増加である。又、1980年当時の生産量（445,9千トン）と比べると2倍に近い生産規模となっているが、これは主に東北地方における新しい生産地帯の出現によるものである。

国内の生産地帯は南部、南東及び東北地方に分けられるが、中でも南部地方は依然として最大の生産規模を保持しており、その中に含まれるリオ・グランデ・ド・スール州は栽培面積において全国の64%、生産量において60%の圧倒的シェアを占めている。ヨーロッパ移民によって本国での栽培技術が持ち込まれたのに加え、気象条件が適したため栽培が拡大した。工業原料用ぶどうの生産を主体とするため、栽培管理のきびしい食卓用ぶどうに比して生産性は低く、1haあたりの反収は全国平均の13,450Kg/haを下回る12,575Kg/haと国内でもっとも低い水準にある。その他、サンタ・カタリーナ州、パラナ州も重要な生産地帯である。

全国の地域別生産分布では南東地方が南部に続いており、サンパウロ州によって代表されている。サンパウロ州の生産規模は面積、生産量共リオ・グランデ・ド・スール州に次ぐもので、93年には全国生産量の約15%に当たる119,6千トン収穫した。サンパウロ州で生産されるぶどうは食卓用を主体とするため、集約的栽培管理が行われているが、統計をみる限りにおいてその生産性は低く、93年度における反収は、12,714Kg/haであった。州内では、収益性の高い作物とされており、技術の指導普及システムも他州に比べてすすんでいるため、他の低収益作物の代替え作物として選ばれ、年々栽培面積は増加傾向にある。

比較的生産の歴史が新しい東北地方のぶどう栽培は、バイア州とベルナンブコ州の州境を流れるサンフランシスコ川中流地帯でかんがい栽培により行われているが、国内生産に占める比重を年々増加しつつある。特に輸出用高級ぶどうの生産が主体となっており、年2回の収穫を行い得る利点を有しているが、かんがいを条件とする生産構造や輸出港までの距離が遠く、そのために必要とする輸送、貯蔵施設など他の地域に比して大型の投資を必要とする問題点もある。

IBGEの統計にもとづく過去6年間の生産推移、1993年の生産状況は次表の通りである。

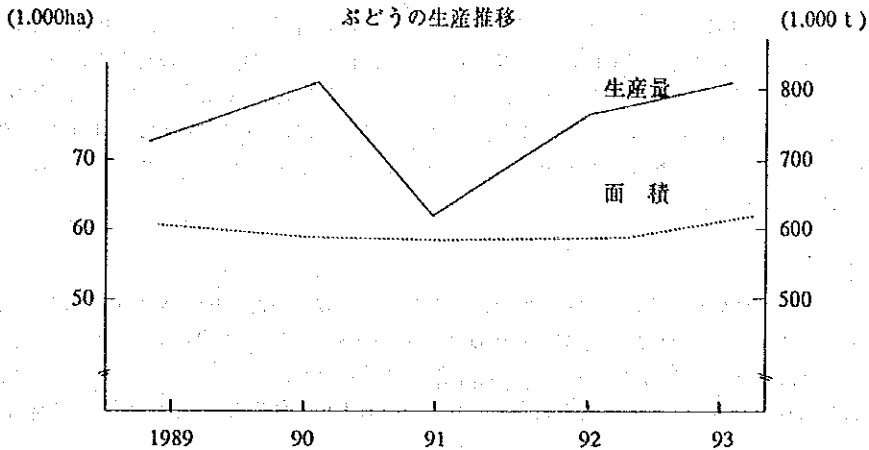


表 243 ぶどう：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
リオ・グランデ・ド・スル	471.6	538.7	395.9	505.5	489.5
サン・パウロ	106.0	126.2	122.8	123.7	119.6
バイア	15.9	17.0	20.0	45.6	69.5
サンタ・カタリーナ	74.3	70.8	44.1	56.6	60.7
その他	48.8	33.5	35.6	10.7	75.4
全国計	716.6	786.2	618.0	798.8	814.7

収穫面積 1,000ha	59.2	57.4	57.3	59.7	60.6
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表 244 ぶどう：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
リオ・グランデ・ド・スル	11.622	13.459	9.901	12.753	12.575
サン・パウロ	11.622	14.362	13.739	13.316	12.714
バイア	29.074	29.000	29.000	29.224	29.349
サンタ・カタリーナ	13.647	15.039	10.275	14.059	14.774
全国平均	12.110	13.699	10.785	12.950	13.450

出所：IBGE

ハ) 市場

〈国内市場〉

92年度の統計によりぶどうの国内生産量と輸出量を対比すると、輸出量6,9千トン(国産量798,8千トンの0,86%にすぎず、殆んど全量が生果、又は工業原料として国内で消費されていることを示している。

ぶどうの流通は約80%が仲買商人を經由して国内市場及び国外市場と取引きされており、15%が農協經由、残りが直接工場、又は消費者に販売される形となっている。

CEAGESP(サンパウロ中央市場)に関するコチア産組のデータによるとNIAGARA種ぶどうの出荷が最高潮に達するのは、12、1、2月、端境期の9~10月に最低の出荷量となっている。

栽培技術の進歩により、年間2回の収穫を可能とするこの種のおぶどうには、5月中旬に2回目の収穫があり、

再び出荷量が増加する。この時期をすぎると冬期の寒い時期に入るため需要は後退する。価格も出荷量と需要傾向に応じて変化するが、サンパウロ市場におけるNIAGARA種の場合1箱(6Kg)当り、US\$10,52(9月)、US\$6,12(12月)、US\$5,10(1月)、US\$2,55(2月)という変化がある。年間の平均価格はUS\$5,93となっている。12月に価格が高いのは、年末の需要増加があるためであり、2月に入って出荷量が減りながら価格が下がるのは、他の品種の入荷量が増加するためである。この価格のカーブは毎年同様に繰返えされる。

〈外国市場〉

世界的にみてヨーロッパがぶどうの最大の消費地域である。ヨーロッパ人の食習慣の中におぶどうが定着していること、輸入品を消費するだけの購買力があるためであり、ヨーロッパの中ではイタリー(336千トン)、ギリシャ(82千トン)、スペイン(72千トン)が圏内輸出を行っている。

米国は世界の大型生産国であり、その品質も最高級のレベルにあるが、国内市場が大きいため国際市場への参加率は僅少である。

南米の輸出国としては、チリー、アルゼンチン及びブラジルがある。中でもチリーの輸出が大きく91年にはヨーロッパに対し67千トンの輸出を行っている。ブラジルの輸出もオランダ、英国、フランス等を中心とするヨーロッパ諸国を市場として行われており、92年には量、金額共飛躍的な増加を記録しているが、未だ1千万ドル以下の小規模な輸出の域を出ていない。

表 245 ぶどうの輸出推移

年 度	重 量 t	金 額 US\$ 1,000	平均単価 US\$/t
1988	3,161.7	3,361.3	1,063
1989	2,010.8	1,818.2	904
1990	1,845.3	2,242.4	1,215
1991	2,882.5	6,062.7	2,103
1992	6,880.1	7,662.1	1,113

表 246 ぶどうの輸出先市場(1992年)

輸出先国	重 量 t	金 額 US\$ 1,000	平均単価 US\$/t
オランダ	2,464.4	2,772.5	1,125
アルゼンチン	1,903.2	2,017.5	1,060
英 国	1,464.6	1,712.6	1,169
フランス	522.1	494.0	946
そ の 他	525.8	665.5	1,265
計	6,880.1	7,662.1	1,113

出所: DECEX

3・5・5 ココヤシ

表 247 ココヤシ: 1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000t	反 収 Kg/ha
バ イ ア	54.4	54.4	221.2	4,068
セ ア ラ	42.5	42.5	160.8	3,779
パ ラ ー	11.9	11.9	130.6	11,018
リオ・グランド・ノルテ	34.8	34.8	107.4	3,088
セルジッペ	51.0	51.0	101.0	1,973

アラゴアス	14,7	14,7	59,0	4.000
ベルナンブコ	12,0	12,0	43,4	3.618
その他	14,5	14,5	55,2	-
全国計	235,8	235,8	878,6	3.726

出所：IBGE

表 248 ココヤシ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
バイア	54,6	54,6	225,9	4.134
パラ	11,8	11,8	140,8	11.898
セアラ	38,3	38,3	120,6	3.152
ポグランド・ノル	34,3	34,3	99,9	2.917
セルジッペ	49,9	49,9	98,5	1.976
アラゴアス	14,0	14,0	56,0	4.000
ベルナンブコ	12,1	12,1	43,8	3.607
その他	14,7	14,6	55,9	-
全国計	229,7	229,6	841,4	3.665

出所：IBGE

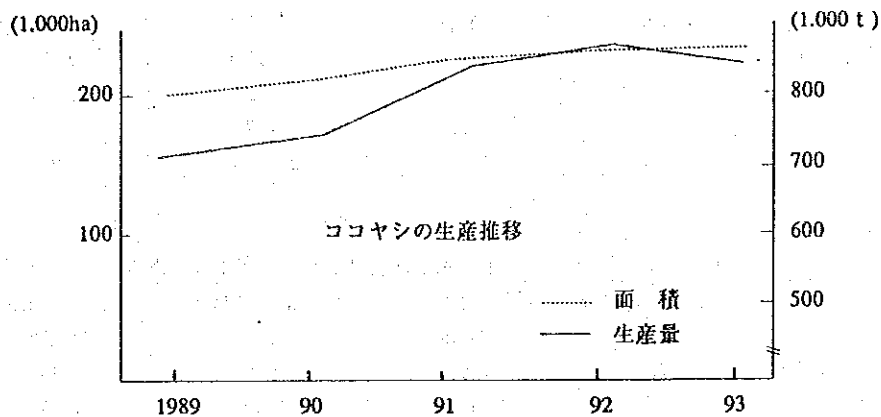


表 249 ココヤシ：過去5ヶ年間の生産推移 1.000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バイア	132,6	188,5	213,5	221,2	225,9
パラ	65,6	97,1	136,1	130,6	140,8
セアラ	129,9	133,9	140,9	160,8	120,6
ポグランド・ノル	68,3	54,5	108,3	107,4	99,9
セルジッペ	87,1	86,5	102,2	101,0	98,5
その他	197,2	148,8	138,2	155,6	155,7
全国平均	681,0	709,3	849,2	878,6	841,4

収穫面積 1.000ha	198,1	206,0	227,6	235,8	229,6
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表 250

ココヤシ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
バ イ ア	3.544	3.882	4.143	4.068	4.134
パ ラ ー	7.172	9.306	10.054	11.018	11.898
セ ア ラ	4.028	3.782	3.682	3.779	3.152
リオ・グランデ・ド・ノル	2.647	2.027	3.098	3.088	2.917
セルジッペ	2.039	2.007	2.146	1.973	1.976
全国平均	3.439	3.443	3.731	3.726	3.665

出所：IBGE

3・6 野菜類

3・6・1 ジャガイモ

表 251

ジャガイモ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反 収 Kg/ha
サン・パウロ	26,6	26,6	567,9	21.350
ミナス・ジェライス	27,9	27,5	528,7	19.225
パ ラ ナ	44,0	44,0	460,6	10.468
リオ・グランデ・ド・スル	51,6	51,6	420,1	8.141
サンタ・カタリーナ	19,7	19,2	190,8	9.937
バ イ ア	1,1	1,1	15,2	13.311
そ の 他	2,5	2,4	237,7	-
全国計	173,4	172,4	2.421,0	14.043

出所：IBGE

表 252

ジャガイモ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反 収 Kg/ha
パ ラ ナ	40,8	40,8	624,9	15.316
ミナス・ジェライス	29,2	29,1	608,4	20.907
サン・パウロ	25,3	25,3	469,7	18.565
リオ・グランデ・ド・スル	44,2	44,2	393,2	8.896
サンタ・カタリーナ	19,0	19,0	209,4	11.021
バ イ ア	1,2	1,2	15,6	13.043
そ の 他	1,9	2,1	26,0	-
全国計	161,6	161,7	2.347,2	14.516

出所：IBGE

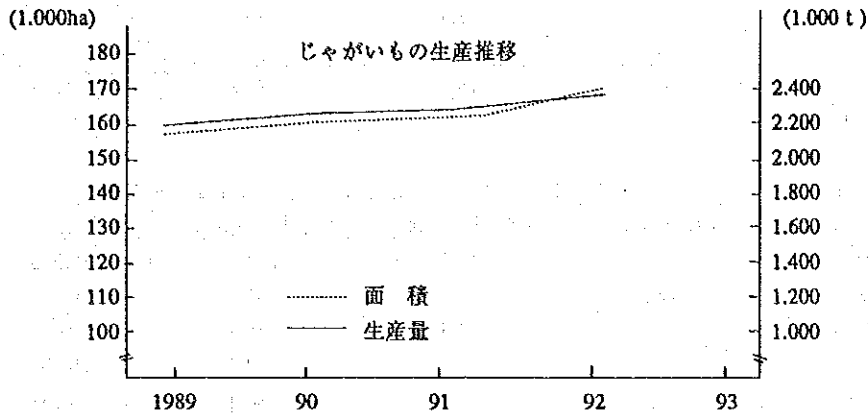


表 253 ジャガイモ：過去5ヶ年間の生産推移

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラナ	501.4	616.5	653.8	460.6	624.9
ミナス・ジェライス	577.1	535.1	504.5	528.7	608.4
サン・パウロ	525.0	505.9	582.0	567.9	469.7
リオ・グランデ・ド・ノル	294.3	339.5	323.5	420.1	393.2
サンタ・カタリーナ	162.3	181.4	162.1	190.8	209.4
その他	72.2	40.7	39.0	252.9	41.6
全国計	2,132.3	2,219.1	2,264.9	2,421.0	2,347.2

収穫面積 1,000ha	1989	1990	1991	1992	1993
	156.8	157.8	161.0	172.4	161.6

出所：IBGE

表 254 ジャガイモ：主要生産地の反収

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
パラナ	12.790	14.927	15.716	10.468	15.316
ミナス・ジェライス	18.921	18.842	19.941	19.225	20.907
サン・パウロ	19.962	20.155	21.241	21.350	18.565
リオ・グランデ・ド・ノル	7.664	8.141	7.110	8.141	8.896
サンタ・カタリーナ	11.780	10.022	8.907	9.937	11.021
全国平均	13.602	14.066	14.068	14.043	14.516

出所：IBGE

3・6・2 玉ねぎ

表 255 玉ねぎ：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
サンタ・カタリーナ	29.8	29.7	309.8	10,418
サン・パウロ	12.5	12.5	247.3	19,829
リオ・グランデ・ド・ノル	18.6	18.6	176.1	9,447
パラナ	6.8	6.8	52.3	7,636
ベルナンブコ	3.6	3.6	50.4	14,073

パイア	5,1	3,9	50,3	12.830
その他	0,1	0,1	0,0	-
全国計	76,5	75,2	886,2	11.784

出所：IBGE

表 256

玉ねぎ：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
サン・パウロ	14,2	14,2	284,1	19.953
サンタ・カタリーナ	22,3	22,2	231,3	10.431
リオ・グランデ・ド・ノル	15,5	15,5	156,4	10.087
ペルナンブコ	5,8	5,8	90,6	15.509
パイア	6,2	6,2	80,2	13.031
パラナ	6,3	6,3	59,8	9.489
その他	0,0	0,0	0,1	-
全国計	70,3	70,2	902,5	12.851

出所：IBGE

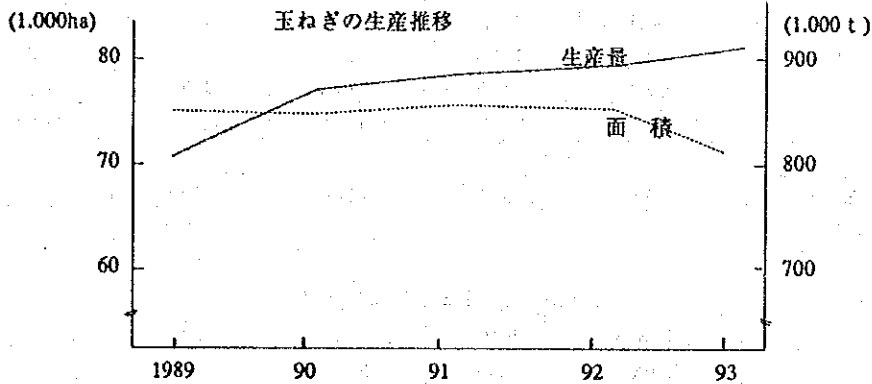


表 257

玉ねぎ：過去5ヶ年間の生産推移

1.000 t

州別	1989	1990	1991	1992	1993
サン・パウロ	283,9	276,0	296,1	247,3	284,1
サンタ・カタリーナ	207,6	306,5	289,0	309,8	231,3
リオ・グランデ・ド・ノル	127,4	131,6	110,9	176,1	156,4
ペルナンブコ	41,3	34,3	62,9	50,4	90,6
パイア	107,8	68,5	86,5	50,3	80,2
その他	29,3	50,2	33,5	52,3	59,9
全国計	797,3	867,1	878,9	886,2	902,5

収穫面積 1.000ha	73,8	74,4	75,7	75	70,2
--------------	------	------	------	----	------

出所：IBGE

表 258

玉ねぎ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サン・パウロ	17.433	17.602	19.025	19.829	19.953
サンタ・カタリーナ	8.544	11.237	10.735	10.418	10.431
リオ・グランデ・ド・ノル	7.630	7.622	6.465	9.447	10.087
ベルナンブコ	12.080	12.473	15.043	14.073	15.509
バイア	13.843	13.440	13.000	12.830	13.031
全国平均	10.802	11.653	11.618	11.784	12.851

出所：IBGE

3・6・3 トマト

表 259

トマト：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
サン・パウロ	15,1	15,1	740,2	49.020
ミナス・ジェライス	5,7	5,7	257,5	45.094
バイア	7,1	6,6	211,3	31.872
ベルナンブコ	5,9	5,6	182,2	32.471
リオ・デ・ジャネイロ	3,4	3,4	177,2	51.484
ゴヤス	3,9	3,8	169,2	44.629
エスピリット・サント	1,5	1,3	67,9	50.528
サンタ・カタリーナ	1,9	1,8	67,5	37.993
リオ・グランデ・ド・ノル	2,8	2,8	62,4	22.044
セアラ	1,7	1,7	62,0	36.284
その他	4,0	4,0	135,3	-
全国計	53,0	51,8	2.132,7	41.157

出所：IBGE

表 260

トマト：1993年の生産状況

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
サン・パウロ	14,2	14,2	742,3	51.476
ミナス・ジェライス	6,3	6,3	297,2	47.452
バイア	8,1	8,1	272,8	33.651
ベルナンブコ	7,3	6,7	239,9	35.999
ゴヤス	4,3	4,3	201,8	47.043
リオ・デ・ジャネイロ	3,5	3,5	182,5	52.381
サンタ・カタリーナ	1,9	1,9	91,3	47.443
エスピリット・サント	1,5	1,5	83,3	55.589
リオ・グランデ・ド・ノル	2,4	2,4	64,3	26.978
セアラ	1,7	1,6	56,5	35.492
その他	3,8	3,7	123,6	-
全国計	55,0	54,2	2.355,5	43.429

出所：IBGE

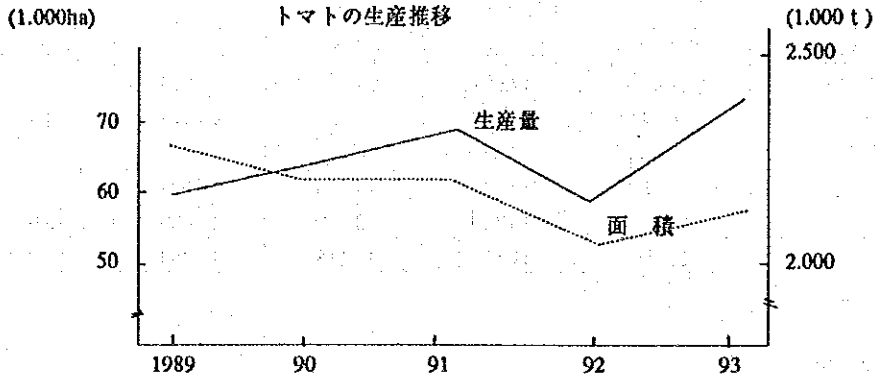


表 261 トマト：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サン・パウロ	785,2	593,5	665,2	740,2	742,3
ミナス・ジェライス	182,1	283,3	267,5	257,5	297,2
バイア	316,3	236,4	218,7	211,3	272,8
ベルナンブコ	487,7	269,6	324,9	182,2	239,9
ゴヤス	136,0	320,4	249,7	169,2	201,8
その他	270,2	552,1	613,5	572,3	601,5
全国計	2.177,5	2.255,3	2.339,5	2.132,7	2.355,5

収穫面積 1,000ha	64,5	60,6	60,6	51,8	54,2
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表 262 トマト：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サン・パウロ	42.483	38.636	42.315	49.020	49.020
ミナス・ジェライス	42.127	48.775	43.702	45.094	45.094
バイア	33.228	30.624	33.027	31.872	31.872
ベルナンブコ	31.379	27.020	31.415	32.471	32.471
ゴヤス	42.430	46.462	43.693	44.629	51.484
全国平均	33.780	37.208	38.608	41.157	41.157

出所：IBGE

2・6・4 にんにく

表 263 にんにく：1992年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	反収 Kg/ha
サンタ・カタリーナ	4,2	4,1	23,8	5.777
ミナス・ジェライス	3,3	3,2	14,1	4.432
ポグランド・ド・メル	3,1	3,1	12,1	3.834
ゴヤス	2,2	2,2	10,5	4.811
エスピリット・サント	0,9	0,9	5,4	5.916
パラナ	1,2	1,2	4,2	3.584

サン・パウロ	0,7	0,7	3,8	5.457
バイア	0,9	0,9	3,0	3.300
その他	0,3	0,4	1,2	-
全国計	16,8	16,7	78,1	4.678

出所：IBGE

表 264 にんにく：1993年の生産状況（1993年10月調査）

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	反収 Kg/ha
サンタ・カタリーナ	4,8	4,8	29,0	6.070
パラナ	3,3	3,3	14,4	4.327
ゴヤス	2,5	2,5	12,7	5.006
ミナス・ジェライス	2,8	2,7	12,4	4.548
エスピリット・サント	0,8	0,8	5,4	6.635
バイア	1,2	1,2	5,0	4.000
サン・パウロ	1,0	1,0	3,9	3.766
その他	0,4	0,4	1,7	4.731
全国計	17,3	17,1	85,6	4.993

出所：IBGE

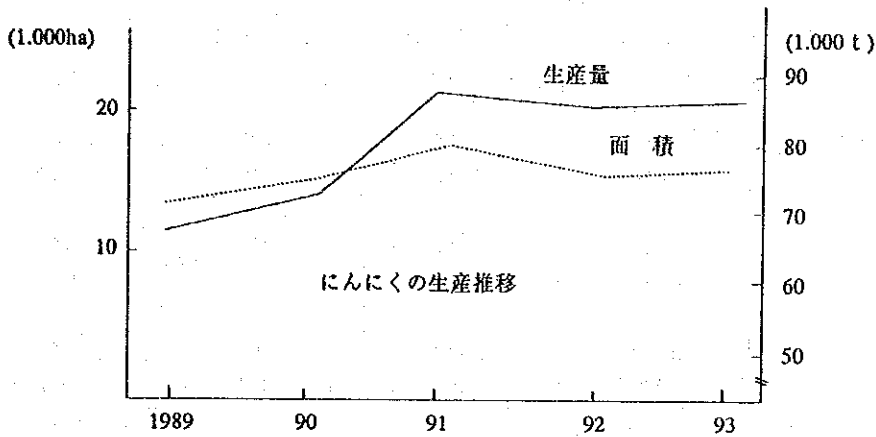


表 265 にんにく：過去5ヶ年間の生産推移

州別	1989	1990	1991	1992	1993
サンタ・カタリーナ	15,9	19,8	22,6	23,8	29,0
パラナ	7,0	9,3	12,5	12,1	14,4
ゴヤス	6,9	9,1	12,5	10,5	12,7
ミナス・ジェライス	13,3	13,2	17,2	14,1	12,4
エスピリット・サント	4,4	6,3	6,4	5,4	5,4
その他	14,5	13,4	14,3	12,2	11,7
全国計	62,0	71,1	85,5	78,1	85,6

収穫面積 1.000ha	14,0	17,1	18,8	16,7	17,1
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表 266

にんにく：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1989	1990	1991	1992	1993
サンタ・カタリーナ	5.540	4.834	4.932	5.777	6.070
パ・グランド・ド・メル	2.388	3.310	3.664	3.834	4.327
ゴヤス	5.303	4.131	5.213	4.811	5.006
ミナス・ジェライス	4.551	4.340	4.720	4.432	4.548
エスピリット・サント	5.950	4.323	5.923	5.916	6.635
全国計	4.443	3.678	4.554	4.678	4.993

出所：IBGE

3・7 牧畜部門

3・7・1 牛

1993年の牛肉生産量はCONAB（国家供給公社）による300万トン、CNPC（国家肉牛審議会）によると約500万トンと推定されている。両機関のデータが大きく異なるのは前者が検閲済屠殺牛を基準として牛肉の生産量を算出するのに対し、後者は牛皮の生産枚数を基準として算出しているためであるが、政府の検閲を避けた屠殺が多く行われているブラジルでは、CNPCの推定値が現実的なものと考えられている。CNPCのデータを用いる場合、500万トンの牛肉は約250万頭の屠殺によって得られたものと推定され、牛の保有頭数を153百万頭とすると屠殺率は16.3%である。

表 267

牛肉の生産、輸出入及び消費量

年度及び出所	生産量 (1,000 t)	輸入量 (1,000 t)	輸出品 (1,000 t)	1人年間消費量 (Kg)
1990				
CONABのデータ	2.836	208,6	225	18,8
CNPCのデータ	4.631	230,0	249	31,8
1991				
CONAB	2.885	88,9	315	16,8
CNPC	4.725	180,0	326	31,50
1992				
CONAB	2.900	90,7	400	16,6
CNPC	4.580	46,0	434	28,7
1993				
CONAB	3.000	100,0	360	17,6
CNPC	4.987	49,0	386	30,0

出所：CONAB、CNPC

サンパウロ州の牛肉生産は全国生産の10%にすぎないが、州内に全国検閲施設の30%、輸出牛肉の80%を占めることから重要な位置にある。

93年の牛肉輸出は生肉、加工肉を合わせて360千トンで前年を下廻ったが、次年度は再び92年の規模に戻るものと予想されている。これに対し端境期に行われた輸入量は100千トンであった。

牛肉の年間1人当たり消費量は、CONABのデータにもとづく場合は、17,6Kg、CNPCの場合は30,0Kgとなっている。牛肉の消費は国民の購買力に直接関係するので経済の安定策が実施され、インフレが鈍化して実質所得の増加が予想される94年は更に増加するものと考えられている。

肥育牛の価格はこの5ヶ年間端境期に上昇傾向が続いている。最高価格は89年の6月に達した1頭当たり\$645、一、最低価格は90年12月の\$290、一であり、端境期は\$400-450の線にある。この価

格水準は94年も継続する見通しである。

牛肉の生産は他の肉類と異って生産の周期が長い為、短期に生産を増すことは困難であり、供給量増減の中は小さい。したがって経済安定策などによって需要が急増する場合、牛肉は供給不足となって価格が上昇し、他の安価な肉類（とくに鶏肉）が求められることになる。最近短期に生産をあげる集中飼育（コンフィナメント）が普及しているが、この場合、飼料コストがその成否に大きく影響する。

表 268 牛価格の推移（肥育牛） US\$/頭

月 例	1989	1990	1991	1992	1993
1	340	512	311	339	392
2	321	468	340	316	371
3	345	443	329	292	376
4	428	383	325	328	390
5	512	410	307	344	367
6	645	523	326	311	346
7	453	467	373	309	390
8	567	514	438	357	474
9	454	622	423	410	467
10	371	496	458	398	440
11	419	366	419	345	423
12	412	290	335	401	446

出所：IEA

表 269 牛価格推移（放牧牛） US\$/頭

月 例	1989	1990	1991	1992	1993
1	199	294	175	197	239
2	202	293	202	196	235
3	232	257	212	184	252
4	290	229	219	202	264
5	353	289	211	242	250
6	410	353	219	232	232
7	283	312	232	202	232
8	319	321	263	224	271
9	268	366	251	255	277
10	208	292	252	244	250
11	203	208	232	223	241
12	212	166	203	234	243

出所：IEA

表 270 牛価格推移（仔牛） US\$/頭

月 例	1989	1990	1991	1992	1993
1	86	136	86	100	125
2	94	139	109	111	131
3	115	132	116	98	144
4	152	115	124	106	152
5	194	152	122	137	144

6	222	197	126	121	128
7	149	175	127	113	134
8	155	172	145	120	145
9	133	201	127	132	165
10	102	163	117	117	135
11	91	105	132	120	132
12	86	84	115	121	135

出所：IEA

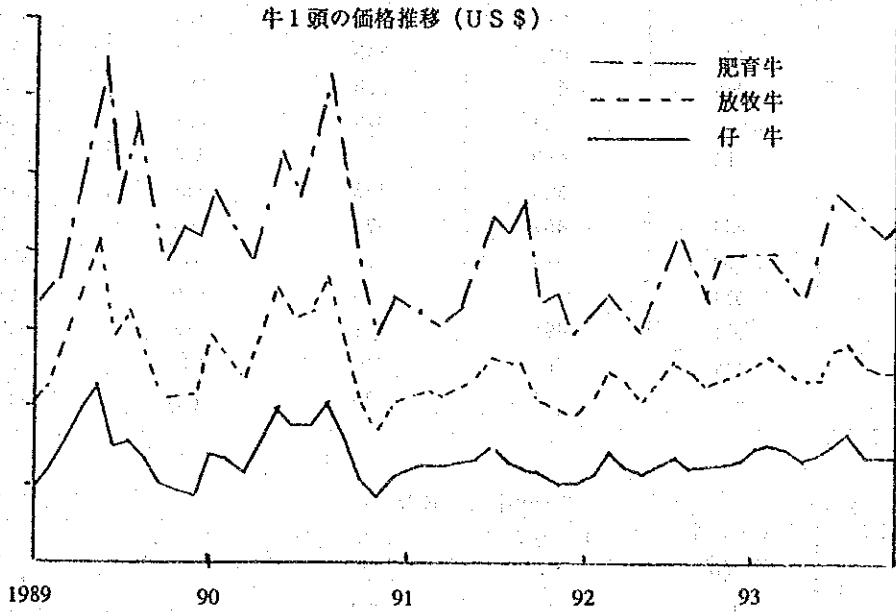


表 271 加工牛肉 (コンビーフ) の輸出先市場

輸出先国	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
英国	53.1	111.8	2.105
米国	24.0	59.7	2.489
フェルト・リコ	3.8	8.4	2.184
ジャマイカ	3.1	6.4	2.027
オランダ	2.9	6.0	2.037
ドイツ	2.8	5.3	1.935
その他	13.7	29.0	-
計	103.4	226.6	2.191

出所：SECEX

3・7・2 鶏

肉鶏用ヒナ生産協会 (APINCO) によると1993年度の鶏肉生産量は3,14百万トンと推定されており、前年の2,87百万トンを9%増加した。70年代の始めに新しい飼育技術の採用により、生産コストの低減を図り、消費の増大をすすめた鶏肉生産のダイナミックな動きは、90年もなお継続中であり、今後更に増大することが予想されている。

極度のインフレ経済のもとで生産の増加を続けてきた養鶏部門は、新しい経済政策によりインフレが終息し、

消費者の実質所持が増加する場合、需要が急増するのは過去の例（1986年のクルザード・プラン）においても明らかであり、現政府の経済政策が実施に移される94年には、現在抱えている約9%の遊休施設もフルに利用されることとなろう。このことは従来消費の後退をおそれて利用を押えられてきた業界にとっても歓迎すべき事態であり、経済政策の成り行きに期待がよせられている。

ブラジルにおける養鶏活動の規模は、米国と中国に次いで世界第3位の位置にあり、米国のみにも劣る世界第2のプロイラー輸出国でもある。1993年中、プロイラーの輸出は40ヶ国に対して行われており、329百万ドルの外貨を得ている。輸出面では主要市場である中近東や日本市場における米国、フランスの補助つき輸出との競合の問題があった。

表 272 プロイラーの輸出先市場（1993年）

輸出先国	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均単価 US\$/t
サウジ・アラビア	203,3	200,0	983
アルゼンチン	52,0	46,9	902
クエート	20,1	19,2	1.050
アラブ・首長国連邦	16,4	16,0	973
オーマン	8,2	8,0	978
バーレーン	8,3	7,9	955
イエメン	7,3	6,3	1.158
日 本	5,1	5,6	1.042
そ の 他	20,4	44,0	-
計	341,1	353,3	965

3・7・3 豚

1993年における豚肉生産量は、CONABによると1,2百万トン、ブラジル養豚協会によると1,25百万トンであった。これに対する国内消費は、117百万トンと推定されており需給はバランスしている。94年度は政府がすすめる経済政策により需要がやや増加し、生産もこれに平行するものと予想されている。

中西部地方とパラナ州南東地方で発生していたアフトザも当局によるコントロールの結果、93年中には他地域への搬出が許可されるようになっており、アルゼンチンよりの輸入も両国内の話し合いにより実施されるようになっている。

ブラジルにおける公式の肉類消費量（年間1人当り）は牛肉17Kg、鶏肉18Kg、豚肉7,5Kg、となっており、この中、牛肉と鶏肉が未加工のままの消費が大きいのに対し、豚肉の場合は加工肉（ハム）としての消費が大きい。

〈 参 考 資 料 〉

RELATÓRIO DE BANCO CENTRAL DO BRASIL

ANUARIO ESTADÍSTICO DO BRASIL

LEVANTAMENTO SISTEMÁTICO DA PRODUÇÃO AGRÍCOLA

INFORMAÇÕES ECONÓMICAS

ESTADÍSTICAS DO COMÉRCIO EXTERIOR BRASILEIRO

GAZETA MERCANTIL

FOLHA DE SÃO PAULO

O ESTADO DE SÃO PAULO

その他業界資料各種

ブラジル中央銀行

ブラジル地理統計院 (IBGE)

全 上

サンパウロ州農務局農業経済研究所

商工観光省 外国貿易局

ガゼッタ・メルカンチル紙

フォーリャ・デ・サンパウロ紙

オ・エスタド・デ・サンパウロ紙

報告書作成

1993年 3月

ブラジル国 サンパウロ市

T. N. K. CONSULTORIA ECONOMICA LTDA.

心身健康を促進する目的で、本誌の発行を決定し、本誌の発行に当たっては、

JICA

